

建設経済委員会・分科会 会議記録

- 1 期 日 令和 8 年 3 月 17 日（火）
午前 9 時 25 分 開会
午後 3 時 15 分 閉会
- 2 場 所 第 3 委員会室
- 3 出 席 委 員 委 員 長 森垣 康平
副委員長 前田 敦司
委 員 荒木 慎太郎、清水 寛、
辻 至誠、西垣 秀昭、
西田 真
- 4 欠 席 委 員 なし
- 5 説 明 員 （別紙のとおり）
- 6 傍 聴 議 員 なし
- 7 事 務 局 職 員 主幹兼総務係長 船越 初美
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

建設経済委員長・分科会長 森垣 康平

建設経済委員会（分科会） 次第

日時：2026年3月17日（火） 9：30～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 付託・分担案件の審査について（別紙：付託分類表・審査日程表）

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

イ 委員会意見・要望のまとめ

(3) 閉会中の継続審査申出について

(4) 2026年度管外行政視察研修について

4 その他

5 閉 会

令和7年第7回豊岡市議会（定例会）議案付託分類表

【建設経済委員会】

- 第11号議案 豊岡市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第14号議案 豊岡市集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第22号議案 令和7年度豊岡市太陽光発電事業特別会計補正予算（第3号）
- 第24号議案 令和7年度豊岡市水道事業会計補正予算（第5号）
- 第25号議案 令和7年度豊岡市下水道事業会計補正予算（第4号）
- 第33号議案 令和8年度豊岡市太陽光発電事業特別会計予算
- 第35号議案 令和8年度豊岡市水道事業会計予算
- 第36号議案 令和8年度豊岡市下水道事業会計予算

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【建設経済分科会】

- 報告第2号 専決処分したものの承認を求めることについて
- 専決第2号 令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第10号）
- 第15号議案 令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）
- 第26号議案 令和8年度豊岡市一般会計予算

建設経済委員会・分科会 審査日程表

審査日程	所管部課名	審査区分	予想時間
3月16日(月) <u>13:00~</u> 第3委員会室	<1部> 【観光文化部】 観光政策課 【コウノトリ共生部】 農林水産課 環境経済課 コウノトリ共生課 【都市整備部】 建設課 都市整備課 建築住宅課 【農業委員会事務局】	≪付託案件≫ <個別に説明・質疑・討論・表決> (一般会計は説明・質疑・賛否の確認) ○第11号議案(建築住宅課) 分 報告第2号 専決第2号 (コウノトリ共生課、建設課) 分 第15号議案(関係課) <u>※第15号議案に対する賛否の確認は2部で行います。</u> ○第22号議案(コウノトリ共生課) ≪報告事項≫ ○建設課 ○建築住宅課	13:00~ 14:15
	<2部> 【各振興局】 地域振興課(地域振興担当) 【上下水道部】 水道課 下水道課	≪付託案件≫ <個別に説明・質疑・討論・表決> (一般会計は説明・質疑・賛否の確認) ○第14号議案(下水道課) 分 第15号議案(各振興局、上下水道部) <u><賛否の確認></u> ○第24号議案(水道課) ○第25号議案(下水道課)	14:15~
	建設経済委員	≪委員会審査意見・要望のまとめ≫ ○第11号議案 ○第14号議案 ○第22号議案 ○第24号議案 ○第25号議案 ≪分科会審査意見・要望のまとめ≫ 分 報告第2号 専決第2号 第15号議案	

分 (赤字) = 予算決算委員会 建設経済分科会分担議案

○ = 建設経済委員会 付託議案

※ 3月16日(月)の審査は**2部制**で開催します。そのため、議案番号順の審査とならないことをご承知おきください。

13時から、観光政策課、コウノトリ共生部、都市整備部及び農業委員会事務局の審査を行い、退席後、14時15分頃から各振興局及び上下水道部の審査を行います。

審査日程	所 管 部 課 名	審 査 区 分	予想時間
3月17日(火) <u>9 : 30~</u> 第3委員会室	【農業委員会事務局】	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	9:30~ 12:00
	【観光文化部】 観光政策課	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	
	【各振興局】 地域振興課（地域振興担当） 城崎温泉課	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	
	【コウノトリ共生部】 コウノトリ共生課	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	
		○第33号議案（太陽光発電事業特別会計予算） <説明・質疑・討論・表決>	
	【コウノトリ共生部】 農林水産課 環境経済課	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	13:00~ 16:00
	【都市整備部】 建設課 都市整備課 建築住宅課 地籍調査課	分第26号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 <説明・質疑>	

審査日程	所 管 部 課 名	審 査 区 分	予想時間
	【上下水道部】 水道課 下水道課	分 第 26 号議案（一般会計予算） ・ 主要事業等の予算説明 ・ 債務負担行為、地方債の説明 ＜説明・質疑＞	
		○第 35 号議案（水道事業会計予算） ＜説明・質疑・討論・表決＞	
		○第 36 号議案（下水道事業会計予算） ＜説明・質疑・討論・表決＞	
	建設経済委員	分 第 26 号議案（一般会計予算） ＜賛否の確認＞ 《分科会審査意見・要望のまとめ》 分 第 26 号議案（一般会計予算） 《委員会審査意見・要望のまとめ》 ○第 33 号議案（太陽光発電事業特別会計予算） ○第 35 号議案（水道事業会計予算） ○第 36 号議案（下水道事業会計予算）	16:10～ 17:00

分（赤字）＝予算決算委員会 建設経済分科会分担議案

○＝建設経済委員会 付託議案

※ 午前中の部署は全部署 9：30 までに入室していただき、農業委員会事務局、観光政策課、各振興局、コウノトリ共生部（コウノトリ共生課）の順に説明・質疑を行います。

（進行状況により、午前中に農林水産課も入室いただく可能性があります。）

午後も全部署 13：00 までに入室していただき、コウノトリ共生部（農林水産課、環境経済課）、都市整備部、上下水道部の順に説明・質疑を行います。

※ 17 日は当初予算の討論・表決（一般会計は賛否の確認）を行い、分科会及び委員会の意見・要望の取りまとめを行います。

建設経済委員会名簿(3/17)

＝出席不要もしくは欠席

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	森 垣 康 平
副委員長	前 田 敦 司
委 員	荒 木 慎太郎
委 員	清 水 寛
委 員	辻 至 誠
委 員	西 垣 秀 昭
委 員	西 田 真

7名

【当 局】

職 名	氏 名
観光文化部	観光政策課長 中田 啓之
コウノトリ共生部	コウノトリ共生部長 坂本 成彦
	農林水産課長 浪華 誠
	農林水産課参事 村田 光弘
	農林水産課参事 西村 文紀
	コウノトリ共生部次長 兼環境経済課長 瀬崎 晃久
	コウノトリ共生課長 宮垣 均
都市整備部	都市整備部長 富森 靖彦
	都市整備部次長 兼建設課長 久田 渉
	建設課参事 和田 征之
	建設課参事 谷口 浩二
	建設課参事 兼国県事業推進室 北村 省二
	建設課参事 兼用地対策室長 山根 哲也
	都市整備課長 堂垣 俊裕
	都市整備課参事 武中 孝寛
	建築住宅課長 小川 琢郎
	建築住宅課参事 岡田 忠昭
	地籍調査課長 上阪 善晴

18名

職 名	氏 名
城崎振興局	城崎振興局長 富岡 隆
	地域振興課参事 橋本 郁夫
	城崎温泉課長 山田 和彦
竹野振興局	竹野振興局長 吉村 容子
	地域振興課参事 森口 佳徳
日高振興局	日高振興局長 柳沢 和男
	地域振興課参事 徳味 卓示
	地域振興課参事 上野 和則
出石振興局	出石振興局長 木之瀬晋弥
	地域振興課参事 山本 隆之
但東振興局	但東振興局長 井上 靖彦
	地域振興課参事 木下 喜晴
上下水道部	上下水道部長 谷垣 康広
	水道課長 縄手 伸幸
	水道課参事 佐伯 勝巳
	下水道課長 野畑 修身
	下水道課参事 羽渕 浩史
農業委員会事務局	農業委員会事務局長 谷田 芳紀

18名

計 36名

【議会事務局】

職 名	氏 名
主幹兼総務係長	舩越 初美

1名

合計

44名

建設経済委員会重点調査事項

○環境経済戦略の推進について

○農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進について

○有害鳥獣対策の推進について

○地域内幹線道路の整備促進について

○都市計画マスタープランについて

○公営住宅のあり方について

○下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進について

○専門職大学と演劇のまちについて

午前9時25分開会

○委員長（森垣 康平） おはようございます。

それでは、皆さんおそろいですので、ただいまから建設経済委員会を開会いたします。

ちょっと今日はめじろ押しだそうで、挨拶のほうは端折らせていただきます。すみません。

まずは、本日の委員会に当たり、日高振興局地域振興課、上野参事の欠席について申出があり、許可しておりますので、ご了承をお願いします。

それでは、協議事項1番、付託・分担案件の審査に入ります。

本日は、審査日程表のとおり、当委員会に付託された令和8年度各会計予算案の説明、質疑、討論、表決、また、当分科会に分担されました令和8年度一般会計予算案の説明、質疑、賛否の確認を行い、その後、議案全体についての委員会・分科会意見、要望の取りまとめを行います。

なお、当局の説明は、基本的には部単位で組織順としておりますが、スムーズに進行するため、審査日程表のとおり、午前の工程を一部変更しております。

午前中は、農業委員会事務局、観光政策課、各振興局地域振興課及び城崎温泉課、コウノトリ共生部コウノトリ共生課の順に、それぞれ説明、質疑を行います。

午後は、コウノトリ共生部農林水産課、環境経済課、都市整備部、上下水道部の順に、部ごとに説明、質疑を行いたいと思います。

委員の皆様、当局の皆さん、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて、簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。

また、委員会中の発言につきましては、必ず委員長の指名を受けてから、マイクを使用して発言していただきますよう、改めてご注意をお願いいたします。

ここで建設経済委員会を暫時休憩いたします。

午前9時26分 委員会休憩

午前9時26分 分科会開会

○分科会長（森垣 康平） ただいまから建設経済分科会を開会いたします。

それでは、第26号議案、令和8年度豊岡市一般会計予算を議題といたします。

当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔にご説明お願いします。

説明については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順にお願いいたします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

それでは、まず、農業委員会事務局から説明をお願いします。

農業委員会事務局、谷田局長、お願いします。

○農業委員会事務局長（谷田 芳紀） 令和8年度豊岡市一般会計予算並びに予算説明書の200ページ、201ページをご覧ください。令和8年度は、現委員の3年の任期を終え、新たな委員の1年目となります。そのため、今後の委員活動を行っていくために必要な物品の購入が必要となり、前年度と比較して運営経費が増額となっております。

主なものを説明いたします。201ページ、上から2つ目の枠、農業委員会費の説明欄の一番上の人件費、委員報酬です。農業委員19名分、農地利用最適化推進委員25名分です。前年度と同額となります。下から8行目、非常勤職員公務災害補償保険料については、前年度と同額となっております。

次に、その1行下の農業委員会費は、対前年度171万5,000円の増額となっております。増額の要因について説明いたします。農業委員会費の2行下、費用弁償でございます。委員44名が行う行政視察研修を含んでいますが、本年度は日帰りで研修を実施しましたが、来年度は1泊2日の研修を予定しており、対前年度54万3,000円増額となっております。下から2行目、消耗品費についてでございます。委員の作業服、委員章、委員研修テキストなどの購入経費で、対前年度75万8,000円増額しております。

203ページをご覧ください。説明欄の上から5行目、自動車借上料についてでございます。委員行政視察研修、バス借り上げ料となります。対前年度24万8,000円増額しております。

そのほかの予算につきましては、ほぼ例年どおりとなっております。

次に、説明欄、同じ枠内の下から4行目の農業者年金事務費については、農業者年金の加入推進手続等に関する事務経費でございます。ほぼ例年どおりでございます。

次に、歳入の主なものを説明いたします。51ページをご覧ください。説明欄の一番下の枠の一番下、農業委員会交付金についてでございます。この交付金は、農業委員会法に基づき兵庫県から交付されるもので、事務局職員の人件費に充当しております。

次に、53ページ、説明欄の上から6行目でございます。機構集積支援事業費補助金は、農地中間管理機構であるひょうご農林機構が担い手への農地集積、集約化を促進するに当たり、農業委員会等が関連する業務を適切に実施できるよう補助されるもので、本市においては農地法に基づく事務の適正実施のための事務を補助対象として、農地台帳システム運用に係る会計年度任用職員報酬に充当しております。

その8項目下、農地利用最適化交付金についてです。担い手への農地集積、集約化等農地利用の最適化が農業委員会の必須業務となったことにより、農業委員、推進委員の活動を活発化するために予算化されたものであり、それぞれの報酬に充当しております。

その次の項目、国有農地等管理处分事業事務取扱交付金は、国有農地の管理事務に対して兵庫県から交付されるものでございます。主な事務内容は、竹野地域における国有農地の使用料徴収でございます。

続いて、69ページをご覧ください。上から4行目、農業者年金業務は、独立行政法人農業者年金基金からの委託料です。事務局職員の人件費と事務費に充当しております。

歳入の説明は以上です。

なお、債務負担行為、地方債はございません。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 1件お聞きします。今回、農業委員さんの改選ということで、たくさんのお名前を拝見したんですけども、なかなかそういう意味じゃ担い手不足という中で、選ぶことが年々難しくなっているのかなというふうに思います。そういう意味で、新しい方というか、そういう方になってもらうための何か取組というか、いろいろとお聞きするようなネットワークというか、そういうところ辺での工夫というのはあるのでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 局長。

○農業委員会事務局長（谷田 芳紀） なかなか具体的な方策というのは難しいんですけども、やっぱり成り手不足という声はよく聞かせてもらってまして、農業従事者の高齢化と、後継者不足ということが、こういったところにも影響を及ぼしているのかなというふうに感じております。

今回の募集に当たっては、ホームページや、広報に掲載するといった形で広く一般に募集をしておりますけれども、それと同時に地区の区長会であるとか、農会長会、それからまたJAにも推薦を求めています。その結果、定員どおり、今回についてはそろったということでございます。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 何とか3年ごとにというところではあるんですけども、やはり長くされている方がおられるということがやはり理想だと思いますから、できるだけ農業スクールの卒業生の方も大分増えてきているということもありますので、少しそういう方にもお声かけできるような体制づくりをしていただきたいと思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（森垣 康平） 質疑を打ち切ります。

なお、第26号議案、令和8年度豊岡市一般会計予算の賛否の確認につきましては、各担当課の説明、質疑が全て終局した後、すなわち本日の最後の上下水道部の説明、質疑が終了した後、委員のみで行いますので、ご了承をお願いします。

続いて、観光政策課の説明をお願いいたします。

観光政策課、中田課長、お願いします。

○観光政策課長（中田 啓之） それでは、観光政策課の令和8年度当初予算についてご説明をいたします。

まず、歳出予算です。議案書127ページをご覧ください。専門職大学連携推進事業です。本市の地方創生の大きな推進力として期待される芸術文化観光専門職大学の機能や知見を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図る地域連携事業として事業委託料1,067万4,000円を計上しております。令和8年度は、新たにワークイノベーション推進事業、城崎国際アートセンター多角価値評価研究事業、出石次世代地域リーダー育成事業に取り組むこととしており、これまでから実施しております高校生のコミュニケーションワークショップなどと合わせまして計7事業を実施することとしております。また、学生が自身のキャリアについて考え、市内就職及び定住を促す取組を行います。

次に、観光事業費です。マーケティング調査業務は、携帯電話の位置情報を活用し、本市への来訪者数を把握、集計する業務で、これまで取得しておりました市全体のデータに加え、新たに市内を1キロメッシュごとに確認できる人口マップを導入し、市内地域ごとの来訪者数を把握することとしており、業務委託料550万円を計上しております。

また、豊岡観光イノベーションへの負担金につきましては、国内観光客の誘客促進として584万8,000円を計上しております。内容としましては、国内観光客向けウェブサイトのコンテンツ増加による周遊促進、各種施策で取得しました来訪者データを活用したメールマーケティングなどによる消費拡大と豊岡ファンづくり、来訪者アンケートの実施、OTAデータの収集・分析に加え、2024年

度から実施しております市民への住民満足度調査を引き続き実施し、観光と市民生活の調和度の見える化に取り組みたいと考えております。

次に、観光まちづくり推進事業費です。業務委託料、観光自主財源導入支援業務につきましては、本会議でもご答弁いたしましたとおり、昨年10月に設置をいたしました豊岡市観光自主財源検討委員会や観光事業者、観光団体へのヒアリングからいただきましたご意見を考慮しつつ、市としての方向性をまとめたうえで、広く事業者や市民の皆様のご意見をお伺いする説明会の開催や、財源の管理の方法、財源を活用した施策に関して協議、検討を行う仕組みの構築に取り組むため、業務委託料110万円を計上しております。

次に、海外戦略推進事業費です。本市の知名度向上、地域の魅力を的確に伝え、2025年に10万人泊を超えました訪日外国人客をさらに伸ばしていくため、生成AIによるチャットボットやオンラインコンシェルジュの運用、その人、そのときに応じたお勧めを意識したマーケティングによる消費拡大、関係性の構築、デジタルメディアを活用した情報発信による認知拡大、ローカルガイドの養成、ベジタリアン、ハラール食対応の事業者育成など、インバウンド誘客の推進と高付加価値化、周遊促進事業に取り組む豊岡観光イノベーションに対する負担金として1,500万円を計上しております。

次に、豊岡演劇祭協同開催事業費です。演劇祭実行委員会への負担金として4,224万1,000円を計上しております。内容ですが、演劇祭の開催や実行委員会の運営に加えまして、後ほど歳入予算でも触れさせていただきますが、文化庁の地域の文化・芸術活動助成事業を活用しました公演実施に係ります924万1,000円を含んだ額となっております。

また、豊岡演劇祭のコンセプトでもあります持続可能なまちづくりと連動した演劇祭の取組としまして、豊岡演劇祭2026では、来場者の会場間の移動手段の確保と市内観光地の周遊体制の構築による周遊促進を図り、本市における公共交通の課題

整理と今後の在り方検討に対する示唆を得るため、ボランティアサポーターによるライドシェアの実証事業を実施したいと考えており、現在、国や交通事業者と制度設計に向けた調整を行っております。

131ページをご覧ください。一番下の事業、地域おこし協力隊推進事業費です。地域おこし協力隊業務委託料のうち環境政策課分は、ユニバーサルツーリズムの推進に2名、豊岡演劇祭を核とした深さを持った演劇のまちづくりの推進に2名、マルチワーク型による深さを持った演劇のまちづくりの推進に1名の計5名分、1,651万9,000円を計上しております。

133ページをご覧ください。中ほど、企業版ふるさと納税獲得推進事業費です。観光政策課分の事業費は、298万9,000円のうち188万9,000円となります。企業版ふるさと納税推進業務委託料は、企業版ふるさと納税の推進、獲得を目的とした業務で、獲得寄附金額の税別20%を成功報酬とする仕様により、業務委託を行うこととしております。

次に、227ページをご覧ください。まず、観光事業費です。観光協会補助金としまして、市内6地域観光協会の運営費及び事業費を一部支援するため、5,048万2,000円を計上しております。

次に、海外戦略推進事業費です。訪日外国人観光客の増加に伴いまして、外国語版パンフレットの増刷を行うため、印刷製本費を例年より増額し、77万円を計上しております。

次に、玄武洞公園管理費です。229ページをご覧ください。指定管理料2,080万円を計上しております。指定管理業務は、全但バス・神姫バス共同事業体に委託をしており、来年度は3か年契約の2年目となります。引き続き公園の安全、適正かつ円滑な管理に努めてまいりたいと考えております。

次に、231ページをご覧ください。上から2つ目です。観光施設管理費です。事業費のうち、中嶋神社、気比の浜、来日岳山頂の観光トイレの適切な維持管理を行うため、観光政策課分として68万6,000円を計上しております。

次に、233ページをご覧ください。上の枠、中ほど、泉源管理費です。竹野、神鍋、出石、但東シルク第1、第2、但東北部の6泉源施設について、温泉の安定供給を目的に適切に管理運営を行う事業費として計上しており、来年度は揚湯水中ポンプ交換計画に基づき、但東シルク第1泉源の揚湯水中ポンプを購入することとしており、備品購入費290万1,000円を計上しております。

次に、歳入予算です。29ページをご覧ください。最下段、玄武洞公園観覧料です。今年度2月までの入園者数は約9万6,000人で、観覧料は約3,961万円となっております。来年度は4,000万円の歳入を見込んでおります。

次に、41ページをご覧ください。一番下です。地域未来交付金です。歳入予算額のうち観光政策課分としまして、専門職大学連携推進事業費をはじめ6事業、計5,041万7,000円を計上しております。

次に、57ページをご覧ください。下の枠内、中ほどです。自然歩道施設管理委託金です。豊岡、竹野地域の近畿自然歩道観光トイレの清掃業務に係る県委託金として41万2,000円を計上しております。

次に、61ページをご覧ください。上から2つ目の枠、企業版ふるさと応援寄附金です。歳入予算額2,200万円のうち観光政策課の深さを持った演劇のまちづくり事業分として1,000万円を計上しております。

次に、63ページをご覧ください。上の枠内、中ほど、地域振興基金繰入金です。うち観光政策課分は3,400万円で、専門職大学連携推進事業費、観光事業費、豊岡演劇祭協同開催事業費の3事業に充当されております。

次に、69ページをご覧ください。中ほど少し下、参加者負担金の一番下、豊岡演劇祭公演収入です。歳出予算の豊岡演劇祭協同開催事業費における演劇祭実行委員会への負担金としてご説明いたしました、文化庁の助成事業を活用しました公演に係ります公演収入として65万3,000円を計上して

おります。

73ページをご覧ください。中ほど、事業助成金のうち地域の文化・芸術活動助成事業助成金で、豊岡演劇祭において上演を予定しております公演に係ります文化庁の補助率3分の2、上限500万円の助成金で、500万円を計上しております。

なお、同助成金につきましては、本年1月に既に採択内示を得ているところです。

次に、79ページをご覧ください。一番下です。過疎対策事業債です。観光政策課分としまして580万円を計上しており、城崎、竹野、但東の各観光協会への補助金に充当をさせていただいております。

最後に、地方債です。12ページをご覧ください。一番下、過疎対策事業債です。先ほど歳出予算でご説明をいたしました観光協会補助金に係ります580万円を観光政策課分として計上をしております。

観光政策課の説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） もし分かればいいんですけど、専門職大学、今年度の卒業生、何名ぐらい豊岡に就職する予定か、把握されてれば教えていただけますかね。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 具体的な数字はお伺いしておりませんが、大体1割程度というようなことはお聞きをしております。

○分科会長（森垣 康平） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） 専門職大学の学生が市内企業に就職するための取組というのは、実際どんなことを考えておられるのか、ちょっとお伺いします。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 今年度実施しました内容としましては、1期生が卒業されるタイミングでしたので、先輩のキャリアに対する考え方であったりとかというようなことをテーマに座談会形式

で3年生、4年生の方に集まっていただいて開催をしたということが今年度の取組としてありますので、来年度も引き続き同じような取組ができればと思っております。

○分科会長（森垣 康平） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） ありがとうございます。

そういった取組、しっかりしてもらって、就職してもらえるように促してもらえたらいいなと思うのと、もう1点、すみません、地域おこし協力隊、演劇祭関係なんですけど、受入れの団体ってどちらになりますかね。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 2名の演劇祭につきましては実行委員会で受入れをしております、マルチワーク型につきましてはTAAに受入れをさせていただいております。

○分科会長（森垣 康平） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） ということは、任期が終わった後も、そのまま残っていくことを前提として受入れをされてるのでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 演劇祭実行委員会で受入れをしております協力隊は、今年の5月までが任期になりますので、卒業された後も引き続き豊岡にとどまっていただくご意思があるということをお伺いをしていますので、引き続き演劇祭で関わっていただくことをしております。

○分科会長（森垣 康平） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） 演劇祭の委託金が特段増えているわけではないけども、人件費も上がっていくように思うんですけど、その辺は大丈夫なのでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） なかなか資金繰りはしんどいところはあるんですけども、市の負担金に頼らないように、先ほどもご説明をした国からの助成金を確保したりとか、企業版ふるさと納税を含めました寄附金を募ったりということで、その高騰する分については何とか維持をしていくように努

めております。

○分科会長（森垣 康平） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） 私も、これ、補助金ありきとかそういったことになりかねないかなと思うんですけども、できるだけ人が入ってきてもらえるように頑張ってもらいたいと思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほかございませんか。
西田委員。

○委員（西田 真） 何点かちょっと確認させてください。

まず、観光協会の件なんですけど、今、旧1市5町でそれぞれあるんですけど、それ、このまいく予定なんか、それとも1つにまとめてやっていくのか、今の現状で不具合がないのか、その辺もちょっとお知らせいただきたいと思います。まず1点、お願いします。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 現在明確な、例えば統合というような話は出ておりません。ただ、連絡調整機能としまして豊岡ツーリズム協議会という組織を持っておりますので、今後につきましては、その協議会の中で検討していくことになるかというふうに思います。

○委員（西田 真） 不具合は、不具合。

○観光政策課長（中田 啓之） 不具合という点につきましては、今現在、たちまち何か不具合があるというようなことは感じておりませんが、連携ですね、地域間の連携をするときに、それぞれの観光協会が、それぞれの視点で取組をどうしてもされてしまいますので、そこは少し、こちら市としては気を遣いながらといいますか、意識をしながら取り組まなければならないということは考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ツーリズムのほうで6団体まとめておられるんですけど、その辺の連携がどうなかなと思ったりしてますんで、今後はそういう統合いうのも一つの手かなと思いますんで、その辺は、それぞれから声が出るまでに、そういう話をされるべきだなと思いますけど、いかがでしょうかね。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 今、ご指摘の意見も内部で話が出てきてたりもしますので、皆さんと協議をしながら、どういった方向性がいいのか、進めていきたいというふうに思います。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

そして、観光トイレのほうですけど、なかなかあんまりきれいじゃないとか、そういう話もあったりするんですけど、その辺はどうでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 観光政策課で所管をしておりますトイレの中で、そういったご意見をいただくのは来日岳の山頂トイレです。地元に維持管理をお願いしているんですけども、お願いしてる方がご高齢で、現に現年度につきましては、実際に作業をしていただけなかったということがありました。いろいろ手段を考えまして、お客様にご迷惑にならないように維持管理に努めていきたいと思ってます。

その他のトイレにつきましては、特段、地域でお願いしているもの、シルバー人材センターにお願いものいずれも適正に管理していただいていると思っております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 今、管理されとる年齢ってどれぐらいの年齢、もうかなりご高齢の方ばかりだとお聞きしておるんですけど、どうでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 基本的には、シルバー人材センターにお願いをしているということがあります。

先ほど申し上げた来日岳につきましては、地元の登山実行委員会というところをお願いしてるんですけども、正確な年齢は把握はしておりませんが、恐らく70代の方だったというふうに思ってます。体調を崩されて、業務が担えないということをお伺いしております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 高齢の方で事故とかけがとかないように、そのような配慮もお願いしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

あと、泉源のほうなんですけど、6 泉源があって、この 6 泉源は不具合とかそういうのは全然なんですかね。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 現時点では不具合はございません。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 但東町の水中ポンプの件なんですけど、これ、耐用年数何年ぐらいで、今度更新されるのは何年経過して更新されるのかお聞かせください。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） 5 年から 6 年をめどに購入をしています。交換をする前年度にポンプを購入させていただいて、翌年度に交換をするというスケジュールで進めさせていただいております。耐用年数も同じ 5 年から 6 年程度を見込んでおります。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 耐用年数が 5 年ということで、故障まで使う必要はないと思いますんで、故障するまでに、耐用年数 5 年ごとに交換されるのは、それはそれでいいと思いますんで、そういう故障するまでに耐用年数どおりしていただければ、それはそれでいいと思いますので、故障して使えなくなるまでにやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員長、以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 1 点、演劇祭の中でライドシェアのことというのはずっと常に取組はされてるなって思いながら、演劇祭の中だけで終わっているのかなというような感じもします。

今、日高のほうもインバウンドが増えてきてると

いうことで、日高、江原駅前のところで外国人の方が路頭に迷うということをよくお聞きしています。そういうことも考えると、演劇祭って本当に地域の外からの方がたくさん来られて、交通の問題が明確になるタイミングだと思います。その中での取組として、しっかりとここで調査をしていく、また実行していくんですけども、その後、通年でやっていくような取組にもつなげていただきたいと思いますと思うんですけども、その辺についていかがでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 中田課長。

○観光政策課長（中田 啓之） ご指摘のとおり、演劇祭の中では、会場間の移動であったり、せっかく豊岡に来ていただいて、観光地をなかなか回っていただけないという課題がある、これは演劇祭を始めたときから同じような課題が続いております。

今年度は、幸いにも、6 年やってきまして演劇祭にボランティアで関わりたいというサポーターの方がすごく増えてきています。そのサポーターのお気持ちを酌ませていただいているとか、そのサポーターの方にご活躍いただく事柄としてライドシェアをやってみたいと考えておりますので、ここである程度形をつくって、地域間をまたぐような、こういったライドシェアのようなシェアリングの交通を社会実装していくきっかけにしたいと思っております。何が課題なのか、何ができるのかということとを明らかにし、この演劇祭の期間内でやっていって、実装できるように進めていきたいと思っております。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 本当にそういう意味では、まず社会実験的な取組というところ、その部分というのはすごくグレーなのかなと思うんですけども、行く行くは、やはり期間限定の、たけの～るじゃないんですけども、そういう意味では、しっかりと事業用ナンバー取って取組をしていくというようなことまで視野に入れた取組をしていただきたいと思いますというふうに思いますので、今回の演劇祭もいろいろとチャレンジをしていただきたいと思います。以上です。

○分科会長(森垣 康平) そのほかございませんか。

ちょっと僕から1つだけ、すみません、国の地域未来交付金という話が出たと思うんですけど、これは何か内示が確定してるとか、もう交付が確定してるとか、その辺はどうなんでしょうか。

中田課長。

○観光政策課長(中田 啓之) いわゆる地方創生のお金で、本年度でいうと第2世代交付金の名称が変わっている交付金ですけれども、まだ現段階では、申請をしている段階で、国のほうから交付決定がなされたということは、私は把握しておりません。

○分科会長(森垣 康平) 分かりました。

そのほかないですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(森垣 康平) 質疑を打ち切ります。

続いて、各振興局地域振興課及び城崎温泉課の説明をお願いします。

質疑は全体の説明が終わった後に一括して行います。

それでは、城崎振興局及び城崎温泉課から説明をお願いします。

城崎振興局地域振興課、橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事(橋本 郁夫) それでは、歳出からご説明申し上げます。111ページをご覧ください。説明欄でご説明いたします。2段目の下のほうになりますが、城崎振興局プロジェクト事業費、修繕料477万円です。こちらは、地区内の道路や水路などの小規模な補修に使う予算になります。2026年度からは、対象となる施設や用途を拡大し、各振興局の予算はそれぞれ200万円増額して、城崎では277万円から477万円にさせていただきました。地域からの要望につきましては、より迅速に柔軟な対応を行うよう考えております。

次に、下の業務委託料になります。麦わら細工振興業務25万5,000円。こちらは、麦わら細工の振興としまして、市内の小学生を対象としました麦わら細工についての学習会と制作体験を実施するものになります。

その下の補助金、城崎夢花火事業500万円です。城崎温泉で誘客として、夏休みのお盆を除く平日に行われる城崎夢花火の打ち上げに対して支援を行います。財源につきましては、過疎債350万円と企業版ふるさと納税、こちら150万円を充てることとしております。

その下の城崎・港地域未来づくり事業費100万円です。こちらは、市民と共創する行政を目指し、城崎・港地域でのおおむね10年先の未来を見据えた際に考えれる地域課題について、課題の解決につながる取組に要する費用について支援を行っていきます。

次に、131ページをご覧ください。上から12行目になります。城崎地域ブランド力向上事業、業務委託料、柳・桜整備事業になります。250万円になりますが、こちらは、城崎温泉の重要な景観を形成する大谿川沿いの柳、桜並木の老木の植え替えや、大きくなり過ぎた枝の剪定などを行っていきます。

その下の負担金になります。観光地レジリエンス事業費375万円です。今年度、城崎では、観光関連事業者と協力して観光レジリエンスマニュアルを作成いたしました。2026年度には、このマニュアルを基にしまして、観光協会などの観光関連事業者が中心となり、行政や公共交通機関と連携し、避難訓練を実施する予定です。また、実効性を高めるため、見やすいマニュアルの作成も予定しており、市の負担分を計上しております。

同じページの下のほうになりますが、地域おこし協力隊事業費です。こちらは、城崎地域振興課分、2名分の593万1,000円が含まれております。

次に、221ページをご覧ください。下の囲みの中ほど、商工振興事業費の補助金、城崎温泉ふるさと祭り事業費38万7,000円になります。こちらは、城崎で8月に行われる城崎温泉ふるさと祭り事業を支援していきます。今年度までは環境経済課所管で行われていましたが、地域イベントとして、来年度からは城崎振興局で行うこととしております。

次に、229ページをご覧ください。上から9行目になります。城崎文芸館管理費、手数料の103万円、そして、その下の業務委託料の76万1,000円になりますが、こちらは、城崎文芸館は新たな建設予定の城崎温泉交流センターに機能を統合するに伴い、施設の売却を検討しております。そのため、必要な不動産鑑定を行います。また、文芸館の施設の敷地の一部には防火水槽が埋設されているため、その部分の分筆を行っていきます。

次に、233ページをご覧ください。上の囲みの下のほうになります。城崎温泉交流センター整備事業費です。投資委託料、実施設計で3,135万円。こちらは、城崎温泉交流センターさとの湯の実施設計について充てていくものとなります。この設計は、令和8年度から令和9年度の2年度にわたって行う予定です。令和8年度の予算としまして3,135万円を計上しており、令和9年度の予算につきましては、債務負担として6,446万円を上げております。

その下の業務委託料、マネジメント業務791万1,000円ですが、委託する業務は、建築士などのコンストラクションマネジャーが市の立場で設計の品質、コスト、スケジュールの管理を行うもので、一般的に規模の大きな事業、専門性の高い施設、予算やスケジュールの厳守が求められる、そういった場合などに活用されております。新たなさとの湯は、温泉施設、城崎文芸館、麦わら細工伝承館、そして集会機能を併せた特殊な施設となるため、設計士により設計された内容の確認などについては、この専門性の高いコンストラクションマネジャーの支援が必要だと考えております。設計に当たりましては、まちの声を聞きながら、設計士と市、そしてコンストラクションマネジャーにおいて協議、検討を行い、品質、コスト、スケジュールをしっかりと管理し、設計を進めたいと考えています。本業務は、設計の期間と合わせまして令和9年度も行いますので、債務負担として799万7,000円を上げております。

歳出は以上となります。

次に、歳入をご説明いたします。歳入、41ペー

ジをご覧ください。一番下の囲み、地域未来交付金、こちらでは歳出でご説明いたしました城崎ブランド力向上事業分の325万円が含まれております。

次に、63ページをご覧ください。上から6段目、地域振興基金繰入金になります。こちらには城崎ブランド力向上事業費分の300万円が含まれております。

次に、77ページをご覧ください。上から2段目になります。観光施設整備事業債、城崎温泉交流センター3,130万円ですが、歳出でご説明いたしましたさとの湯の実施設計分になります。

次に、79ページをご覧ください。一番下の過疎対策事業債、こちらには歳出でご説明いたしました城崎振興局プロジェクト事業の夢花火支援、麦わら細工事業と、あと城崎文芸館の指定管理料を合わせた650万円が含まれてございます。

次に、債務負担をご説明いたします。9ページをご覧ください。最下段になりますが、城崎温泉交流センター整備事業費7,245万7,000円ですが、こちらにはさとの湯の実施設計分を6,446万円、設計のマネジメント業務799万7,000円が含まれております。

最後に、地方債をご説明いたします。11ページをご覧ください。2行目になりますが、観光施設整備事業費の城崎温泉交流センター3,130万円、こちらはさとの湯の実施設計分になります。

次のページの12ページですが、一番下、過疎対策事業債、こちらでは歳入でご説明いたしました振興局プロジェクト事業費と城崎文芸館の指定管理料を合わせた650万円が含まれております。

説明は以上となります。

○分科会長（森垣 康平） 次、城崎温泉課、山田課長、お願いします。

○城崎温泉課長（山田 和彦） 221ページをご覧ください。私からご説明させていただきますのは、ページ中ほどより少し下の城崎町湯島財産区特別会計繰出金でございます。3,000万円を計上させていただきますいております。これは、泉源の管理等を行うものとして繰り出すものでございます。以上で

す。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、竹野振興局地域振興課森口参事、お願いします。

○竹野振興局地域振興課参事（森口 佳徳） 歳出から説明いたします。113ページをご覧ください。説明欄、上の枠の上から9行目、竹野振興局プロジェクト事業費です。振興局管内の市道、水路などの修繕料498万2,000円。その下、竹野地域空き家対策事業としまして委託料485万円、これは、移住者の空き家利活用を進めるため、集落支援員を配置し、空き家と外国人を含めた移住に関する課題解決のための委託料です。その下、補助金として、竹野の知名度向上及び地域経済活性化のため行われ、例年多くの観光客でにぎわうたけの海上花火大会事業へ400万円。竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼き杉板を使用することに対して、材料費の3分の1、上限20万円を補助する竹野焼杉板景観保全事業へ60万円、地域内での子育て支援、福祉事業などへの取組に対する豊岡市女性団体活動費として15万円をそれぞれ計上しております。

次に、127ページをご覧ください。説明欄、上から3行目、専門職大学連携推進事業費のうち竹野振興局分として、事業委託料など196万4,000円を計上しております。これは、竹野魅力再発見事業で専門職大学と連携し、竹野地域全域で夏と海以外の地域の魅力を調査検討し、その魅力が体験できるツアーを実施し、関係人口の増加を図るものです。

次に、213ページをご覧ください。説明欄、一番下の枠、下から7行目、竹野ふるさと生きがいセンター管理費です。椒地域にありますふるさと生きがいセンターの管理経費として54万4,000円を計上しております。

次に、229ページをご覧ください。説明欄、上から16行目、竹野北前館管理費です。主なものとしまして、指定管理料の967万1,000円、そのほか定期検査業務などの委託料を計上しております。

続いて、その下、竹野川湊館管理費です。主なものとしまして、指定管理料の333万8,000円、収蔵品の防虫処理業務、駐車場用地の土地借上料などを計上しております。

次に、231ページをご覧ください。説明欄、上から3行目、観光施設管理費のうち竹野振興局分として、10行下、整備工事費1,100万円を計上しております。これは、竹野浜海水浴場の中央トイレの洋式化などの工事費です。また、竹野浜のほか弁天浜、切浜、浜須井区に設置しております観光トイレ9か所の光熱水費171万6,000円のほか、施設の修繕料などを合わせて179万4,000円を計上しております。

続きまして、同じページの中ほど辺り、竹野観光施設管理費です。主なものとしまして、竹野浜美化業務委託料100万円を計上しております。また、竹野子ども体験村、弁天浜野営場などの観光施設の管理に係る経費を計上しております。

次に、歳入についてご説明いたします。29ページをご覧ください。説明欄の下から3つ目の枠、農業使用料の竹野ふるさと生きがいセンター使用料58万4,000円は、椒にあります豊岡市立椒地域ふるさと生きがいセンターの使用料を計上しております。

次に、41ページをご覧ください。説明欄の一番下の枠、地域未来交付金の地域未来推進型のうち80万円が竹野振興局分で、竹野魅力再発見事業分となります。

次に、63ページをご覧ください。基金繰入金、説明欄、上から3つ目の枠、仲田光成記念基金繰入金35万5,000円は、竹野川湊館に展示、保管する仲田作品の維持管理のための費用の一部を基金から繰り入れるものです。

次に、71ページをご覧ください。説明欄、上から16行目、弁天浜野営場の26万円は、弁天浜野営場におけるキャンプ場開設期間の上下水道料と電気代使用料を光熱水費等使用者負担金として計上しております。

次に、77ページを、説明欄、上から2つ目の枠、

上から3行目、観光施設整備事業債の竹野観光トイレ1, 100万円は、歳出で説明いたしました観光トイレ改修工事に充当する地方債です。

次に、79ページをご覧ください。説明欄の一番下、過疎対策事業債のうち竹野振興局分では、竹野振興局プロジェクト事業費、北前館管理費、川湊館管理費を対象として1, 750万円を計上しております。

最後に、地方債についてご説明いたします。

上から3行目、観光施設整備事業費のうち、竹野観光トイレ1, 100万円が竹野振興局分です。歳出で説明いたしました観光トイレ改修工事に係る地方債です。

次に、12ページをご覧ください。一番下の行、過疎対策事業債は、歳入で説明したとおりです。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、日高振興局地域振興課、徳味参事、お願いします。

○日高振興局地域振興課参事（徳味 卓示） それでは、日高振興局の令和8年度予算の説明をいたします。

歳出についていたします。まず、113ページをご覧ください。説明欄、2つ目のくくりの最下段、日高振興局プロジェクト事業費628万6, 000円について主なものを説明します。報償金の8万円ですけれども、日高東中学と日高西中学で開催を予定しております日高地域の先輩に学ぶ授業の講師謝礼です。それから、少し下の最下段、修繕料604万8, 000円は、道路水路等区内環境改善事業で地域の緊急的な要望等に対応するための予算です。例年の400万円に今年度は200万円の地域解決型予算をいただいて対応の強化を図ります。

続いて、119ページをご覧ください。説明欄1つ目のくくりの下から2段目、電源立地地域対策交付金事業費について、例年と同額の460万円を計上しております。これは、発電用施設周辺の地域を中心に、道路や水路補修工事等を行うもので、電源立地地域対策事業費交付金440万円を財源としております。2026年度は、日高町名色地内の道

路冠水対策工事として、排水路の敷設等を予定しております。

続きまして、129ページをご覧ください。説明欄最下段の道の駅「神鍋高原」事業費の800万円です。夏に道の駅「神鍋高原」改修工事を終えますが、この道の駅にアドバイザーを派遣して、地元産品を利用した商品開発や神鍋の自然を活用した体験プログラムの開発など、ソフト面の充実に支援します。また、地域住民や関係団体等と連携、協力しながら、道の駅だけでなく地域の活性化業務に取り組む集落支援員を派遣することとしております。

続きまして、227ページをご覧ください。説明欄中ほどの日高夏まつり事業費について、こちらも例年と同じく100万円の補助金を計上しております。

続きまして、305ページをご覧ください。説明欄、1つ目のくくりの最下段、植村直己冒険館管理費です。植村直己冒険館の維持管理運営事業費として5, 765万4, 000円を計上しております。

続きまして、307ページをご覧ください。説明欄中段、植村直己冒険館事業費として、植村直己冒険館関連経費655万4, 000円を計上しております。

また、同じく最下段、植村直己顕彰事業費676万円についてですけれども、今年度は10月に日本冒険フォーラムの開催を予定しておりまして、関連経費を計上しております。

そのほかにつきましては、昨年度と大きな変更はございません。

歳出は以上です。

続きまして、歳入について説明をいたします。45ページをご覧ください。説明欄最下段の県補助金の1つ目にあります電源立地地域対策事業費交付金440万円については、先ほど歳出で説明をしました電源立地地域対策交付金事業費の財源としております。

次に、63ページをご覧ください。説明欄、1つ目のくくりの下から2つ目、植村直己顕彰基金繰入金260万5, 000円、これにつきましては、歳

出で説明をしました日本冒険フォーラムの事業費に充当する基金繰入金です。

歳出は以上です。

日高振興局の説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

続きまして、出石振興局地域振興課、山本参事。お願いします。

○出石振興局地域振興課参事（山本 隆之） それでは、出石振興局分の主な事業に係る予算について説明をさせていただきます。それぞれ説明欄をご覧くださいますよう、お願いをいたします。

初めに、歳出についてご説明をさせていただきます。115ページをご覧ください。1枠目の下から8行目、出石振興局プロジェクト事業費です。事業費といたしましては896万1,000円を計上しております。今回、プロジェクト事業費の中で3つの既存事業と1つの新規事業に係る予算を計上させていただきます。既存事業で1つ目は、地域の要望に対応する道路、水路等の区内環境整備事業で、修繕料536万円がこれに当たります。総括説明で市長が申し上げたとおり、昨年度より200万円の増となっております。2つ目は、出石お城まつり事業費に係る補助金で、昨年度と同額の250万円を計上しております。3つ目は、出石城跡の石垣の除草事業としまして、手数料103万3,000円のうち40万7,000円を計上しております。これは、出石城石垣に雑草が繁茂し、景観上も石垣保全上も好ましくないため、出石城石垣のうち除去の必要性が高く、高所で専門業者による作業が必要な部分の除草を業者に依頼しようとするものです。

新規事業としましては、出石永楽館の商標登録費用として、手数料103万3,000円のうち62万6,000円を計上しております。ご承知のように、出石永楽館は映画「国宝」ロケ地として多くのメディア等に取り上げられ、知名度が大きく向上しました。このため、悪意のある第三者からの永楽館ブランドの保全と価値向上を目的として、永楽館の文字と丸に永の字に書きます座紋ですね、こちらの2点について商標登録を行うものです。なお、取得

後の有効期限は10年間となります。出石振興局プロジェクト事業費は以上となります。

続きまして、131ページをご覧ください。下から12行目にあります地域おこし協力隊推進事業費です。出石振興局分につきましては、下から3行目にあります業務委託料で、出石焼の技術習得という分での継続の方、2名の活動費としまして1,096万6,000円が含まれております。

なお、新規の方については、地域づくり課のほうで予算算定されておりますけども、杞柳細工の継承をミッションとする隊員1名分が予定をされておまして、その分も全体の業務委託料に含まれております。

続きまして、231ページをご覧ください。下から7行目、出石観光施設管理費で127万1,000円を計上しております。このうち新規のものとしては、解体工事費の770万円で、これは出石町袴狭地内にあります白糸の滝広場の老朽化したトイレを撤去する経費として計上しております。

続きまして、253ページをご覧ください。上の囲みの1枠目の中ほど、出石駐車場管理費で542万8,000円を計上しております。市営出石庁舎南側駐車場の管理運営に係る委託料や、繁忙期の交通誘導警備業務等に係る経費でございます。人件費の増加及び、来年度は暦の並びで繁忙期に連休があることから警備員配置の日数を増やす必要があることから、今年度予算からは49万3,000円の増額となっております。

続きまして、297ページをご覧ください。1枠目の上から3行目の永楽館管理費です。608万9,000円を計上しております。その下の運営委託料は、毎年の指定管理料です。今年度は、出石永楽館の舞台設備のうちバトンやワイヤ等つり物と、その昇降を制御する電装品等、施設の安全性に関わる設備更新があったことから、今年度予算からは2,831万9,000円の減額となっております。

続きまして、309ページをご覧ください。真ん中の枠の中ほど、資料館管理費です。609万円を計上しております。今年度まで出石旧福富家住宅、

出石明治館、出石家老屋敷及び加藤弘之生家記念館の4施設についてそれぞれ事業立てにしておりますが、資料館管理費としてまとめております。このうち新規のものとしましては整備工事費の94万4,000円で、これは出石家老屋敷内に常設のエアコンがないことから、暑熱対策としてエアコン1台を設置する経費として計上しております。

歳出につきましては以上です。

続きまして、歳入です。31ページをご覧ください。上の囲みの上から3枠目の4行目、駐車場使用料です。出石振興局分につきましては、出石庁舎南側駐車場550万2,000円を計上しております。

続きまして、73ページをご覧ください。たくさんの項目が並んでおり見にくいんですけども、下から6行目、指定管理者納付金190万円のうち180万円が出石地域市営駐車場分で、西の丸と鉄砲町駐車場の指定管理者から納めていただくものでございます。

出石振興局からの説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

続きまして、但東振興局地域振興課、木下参事、お願いいたします。

○但東振興局地域振興課参事（木下 喜晴） 主な歳出から説明させていただきます。115ページ、最下段から但東振興局プロジェクト事業費を記載しておりますが、117ページの2行目、修繕費540万2,000円につきましては、道路水路等区内環境整備事業費で例年よりも200万円増額いたしました523万6,000円と、但東地域にあります移住促進住宅の軽微な修繕料に係る費用ということで計上しております。

その3行下、業務委託料といたしまして674万円のうち500万円が集落支援員の設置に係ります費用でございまして、但東の人口減少対策ですとか、空き家対策、移住定住対策など、但東地域の課題解決に向けたまちづくりを進めるために集落支援員の設置をしておりまして、この委託料として計上しているものでございます。

その2行下、補助金で但東未来づくり事業補助金

50万円を計上しております。これは、2026年度から新規に取り組む補助金でございまして、市民が但東地域の課題を自分事として考え、但東地域の未来を自らつくり上げるためのきっかけづくりとするために、但東地域において地域の市民団体が行う事業経費を補助して、但東地域の未来につながる新たなチャレンジやまちの魅力にさらに磨きをかけるための市民活動を支援することを目的とした補助金としております。関係人口の増加に寄与する事業ですとか、定住人口増加に寄与するような事業、また、但東地域の市民によりまして設置されております但東未来会議で策定されております但東未来プランを実践するための事業に対しまして、上限10万円を5団体に補助しようということで設置した新しい補助金になります。

続きまして、131ページをご覧ください。9行目になります。地方創生推進事業費の但東振興局プロジェクト事業で、業務委託料といたしまして299万8,000円を計上しております。これは、豊岡演劇祭に合わせて但東地域で開催されます但東さいさい運営の事業費になります。

続きまして、213ページ、農林水産業費の一番下の枠、但東そば乾燥貯蔵施設管理費の運営委託料です。こちらは、指定管理料といたしまして31万5,000円を計上しております。但東そば乾燥貯蔵施設に係る指定管理につきましては、2026年4月から5年間の新たな指定管理期間が始まるものでございます。

続きまして、229ページ、下から9行目になります。但東シルク温泉やまびこ管理費です。地域振興の拠点施設でありますシルク温泉やまびこの長寿命化工事に係る費用といたしまして、設計監理に1,200万円、4行下になります整備工事に1億2,150万円を計上しております。2026年度の工事では、シルク温泉やまびこの温泉施設に係る工事を予定しております。

4行上になります。業務委託料316万3,000円のうち、シルク温泉やまびこあり方検討業務として300万円を計上しております。施設の老朽化

が進む中、シルク温泉やまびこを今後どう生かしていくのか、施設の資産価値をはかり、今後の施設のあるべき姿を検討しようとするものでございます。

続きまして、233ページをご覧ください。上から8行目になります補助金で、たんとうチューリップまつり開催事業費の補助金といたしまして200万円を計上しております。額については、例年と同額となっております。

歳出については以上でございます。

続きまして、歳入についてご説明させていただきます。31ページをご覧ください。説明欄の4枠目、住宅使用料の中の移住促進住宅使用料268万8,000円です。これにつきましては、市営中山向町住宅と赤野住宅8棟の住宅使用料となっております。

続きまして、41ページをお願いします。一番下の枠、地域未来交付金の地域未来推進型のうち但東さいさい運営事業に係る分といたしまして、その事業費の299万8,000円の2分の1に当たります149万9,000円が該当分となっております。

77ページをお開きください。説明欄の2枠目の商工債の一番下、但東シルク温泉やまびこの長寿命化工事に係る観光施設整備事業債といたしまして1億3,350万円を計上しております。

続きまして、地方債になります。11ページ、上から4行目になります。観光施設整備事業費に、先ほどもありました但東シルク温泉やまびこの長寿命化工事にかかる分で1億3,350万円を計上しております。長寿命化の工事と設計監理に係る地方債の限度額ということで記載をしております。

続きまして、12ページ目、一番下、過疎対策事業債6,070万円のうち200万円が但東チューリップまつり開催事業費の補助金へ充当されておるものでございます。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 各振興局にお尋ねいたします。

環境整備のほうです。一般質問でもさせていただいたんですけども、時間がなくて、各振興局のほうから答弁はいただけてなかったんで、ここでちょっといろいろと教えていただければと思います。

人口割、市道の延長割でそれぞれあって、それぞれ同額で200万円ずつ増えたんですけど、それで今年度いけるかどうか、いろんな要望が道路でもそのほかにもあると思うんですけど、その辺をまず教えていただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） ちょっと暫時休憩します。

午前10時34分休憩

午前10時34分再開

○分科会長（森垣 康平） 会議を再開します。

それでは、まず、城崎振興局からよろしくお願いします。

振興局長、よろしくお願いします。

○城崎振興局長（富岡 隆） 従来も、このもともとあった予算につきましては、各地域で道路の延長が違いますので、そういったこともありまして、城崎は多分、振興局では一番低い270万ぐらいな…（「277万円」と呼ぶ者あり）はい、いただいております。

具体的な使い道としましては、地区から要望が出てきたものは、一度関係するものは全て建設課とか農林課のほう吟味していただいて、その回答が11月ぐらいに出てきますので、それを見て、ちょっと本庁では時間かかるんですけど、振興局としてはやっぱり地域の声聞いて急ぎたいよねということで、その予算の中でできるものについて優先順位をつけて対応しているというのが現状でございました。

今回、200万円増えるんですけど、それで全て地域要望がかなえられるかというと、なかなか難しいと思うんですけども、工事に限らず、例えば地域の皆さんが非役でやっていくので、重機とかをレンタルしてもらえないかというようなことについても少し対応ができるようなことを考えておりますので、市が応援できるところと地域の皆さんが頑張るところを合体させながら、少しでも行政のスピ

ードではなくて地域の皆さんのスピードで現場が解消できるように、そんな使い方をしていきたいというふうに城崎では考えております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、竹野振興局。

○竹野振興局長（吉村 容子） すみません、今、城崎のほうでおっしゃったように、これまでの使い方というのは同じようなことでして、今後なんですけれども、これまでは修繕だけだったのが使い方が広がるということですが、あくまでもハードという使い道になっていますので、地元のほうから緊急性の高いものを、そうですね、例えばですけども、草刈りやそういったあたりの公園ですとか、地域でこれまで管理してもらっているような部分についても、高齢化などで手が回らなくなっているようなところもあると思いますので、そういったところを優先順位をつけて対応していけたらなと思っています。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、日高振興局、柳沢局長。

○日高振興局長（柳沢 和男） 重複するところもありますけれども、基本的に道路、水路等の修繕につきましては、建設課等の所管のところがまずやっていただくというのが本筋だというふうに思っております。とはいいいながら、なかなかいろんなご事情であったり、急がなければいけないというふうな状況がありますので、そういったものについて振興局のこの予算を使って対応させていただいているというところですよ。

本日ちょっとお休みをいただいておりますけれども、技術の参事がおりますので、建設課のほうといういろんなコンタクトを取って、本庁でできるのかどうかといったようなところを目合わせしながら配分をしているというのが現状でございます。

今年から200万増額になったとはいいいながら、全ての要望がこれでかなえられるわけではないというふうに思っておりますので、緊急性の高いもの等を中心に、優先的にやっていくというようなことにならざるを得ないというふうに思っております。

年度初めで全ての予算を消化するというわけに

はいきませんので、そういった状況を建設課と本庁の関係課と調整をしながら執行していきたいというふうに思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 出石振興局、木之瀬局長、お願いします。

○出石振興局長（木之瀬晋弥） 出石振興局も同様でございます。まず、第1といたしまして、道路、水路等の要望につきまして、従前どおり対応させていただくというのを一番といたします。続きまして、来年度から一部公園にも対象が拡大ということになっております。出石地域、やはり観光地ということで、市が持つ都市公園等もございますので、その辺りについても対応を検討してまいりたいというところと、あと、作業等の役務費、材料費にも拡大ということもございます。最近、地域からの要望の中で、やはり地域で高齢化が進んで、人数も少なくなったということで、草刈りについて要望が上がってきているようなところもございますので、その辺りにつきましても対応を検討してまいりたいと思っております。以上でございます。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、但東振興局長、井上局長、よろしく申し上げます。

○但東振興局長（井上 靖彦） ほかの振興局と考え方は同じです。これまでちょっと使い勝手が悪かった、例えば危険木の伐採とか、そういったことに使えるようになるというようなことの整理が行われておりますので、そういった意味では非常に使い勝手がよくなるかなと思ってます。本庁の建設課等々、連携をしながら当たっていきいたいと思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） いろいろとありがとうございました。

今まで道路、水路のハード面だけとかいう話だったんですけど、今お聞きすると、答弁でもあったんですけど、草刈りとか、そんなにも柔軟に対応することであると思いますので、それぞれ地域の方は非常に喜んでおられるのが実際でありますので、地域のいろんな声に耳を傾けていただいて、そういう要

望にに応じていただくよう、これからも頑張っていた
だきたいと思います。材料費とか役務費、そういう
のも使えるということでありまして、柔軟に対応
できると思いますので、本当に先ほど言いましたよ
うに、地域の要望に柔軟に対応できると思います
ので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

委員長、よろしいですか。

○分科会長（森垣 康平） はい。

○委員（西田 真） 続けて、温泉課のほうです
けど、この泉源管理費 3,000 万円充当されてお
るんですけど、毎年 3,000 万なんですけど、これ、
減ることも増えることもないんですけど、ずっと 3,
000 万ですけど、この 3,000 万円の使い道と
いいいますか、これで足つとるのか、多いのか、そ
の辺を含めてちょっと答弁をお願いします。

○分科会長（森垣 康平） 山田課長。

○城崎温泉課長（山田 和彦） 金額については長年、
合併後そのまま定額ということで来ております。

それから、足りているか足りてないかというこ
ともあったと思うんですけども、予算規模でいき
ますと、大体例年四、五億ぐらい、4 億から 5 億、6 億
手前ぐらいで推移しておりますので、予算規模と
しては、その中で 3,000 万ということですが
けども、泉源の管理という意味でいったら、少し足
らないかなというぐらいですけども、十分といいま
すか、いただいているのかなと私が言ってもいいの
かどうか分かりませんが、予算規模に対しては 5 億
ぐらいのところを 3,000 万というような規模感
です。以上です。

○分科会長（森垣 康平） はい。

○委員（西田 真） ずっと 3,000 万円です
んで、私が入ったときから、もう 13 年ほど前から
3,000 万円ですととるんで、それが足つとるの
か足ってないのか、初めてちょっと今聞かせて
いただんですけど、足らなかつたらもうちょっと
予算要求もされるべきだと思いますし、これはも
う定額で 3,000 万円ですと決まりました案件な
んでしょうか、どうでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 山田課長、お願いします。

○城崎温泉課長（山田 和彦） 私のほうで伺っ
ておりますのが、当時の合併協議で定められた金
額というふうに聞いておまして、増やしてほしい
というふうな要求もしないものであろうという
ふうには考えております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 柔軟に対応すべきだと思
いますので、もうこれ、定額ですと決まりました
んじやなしに、その辺は、5 億円ぐらい使われ
るんですからね、その辺で柔軟に予算要求もし
たりして、また話をされるべきだと思います
けど、いやいや、もう 3,000 万のうちには
よろしいわという感じなのか、その辺も含め
てちょっと答弁をお願いします。

○分科会長（森垣 康平） 山田課長。

○城崎温泉課長（山田 和彦） まず、入湯税、
豊岡市の一般会計で予算額としては 9,000 万、
今年度も組まれております。そのうちの 3,000
万というふうな理論上の話でございますけれど
も、そうですね、ただ、入湯税にも使途があり
まして、泉源の管理ですとか観光振興、消防と
かいろいろありますけれども、そういったところ
での使途に充てるべきものであるということと、
あと、先ほど言いました 4 億から 5 億という
予算規模の中に人件費が 1 億以上入ってたり
とかということで、泉源の管理以外の部分とい
う歳出の予算だけということもたくさんあり
ますので、3,000 万円という規模がどうか
という評価を私がする立場にはないんですけ
れども、合併協議で決まったことということで、
下げることなく、これまで頂いてきているとい
うような現状でございます、私のほうから以上
です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） もうこれ以上は深く言
いません。

そしたら、もう 1 点、花火の補助があるん
ですけど、地元も含めて、観光客も含めて、そ
の辺の反応といいますか、その辺を教えてい
ただければ。そして、この金額でいけると
のか、足らないのか、もうちょっと要ると
か、そういうことも含めて、お願いしたい
と思います。これによって、観光客が増える

ことも一つの要素だと思いますけど、その辺も含めて答弁いただければと思います。

○分科会長（森垣 康平） それでは、まず、花火としては、城崎の話を。橋本参事、よろしくお願いします。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 花火の補助金いうの、500万円ということで頂いております。今年度は、ふるさと納税ということで、財源のほうをちょっと募集かけたり、来年度は企業版ふるさと納税ということで、地域と共に財源の確保と一緒に頑張っていこうということで進めております。この500万円という金額なんですけど、大体、事業規模としましては1,000万円ちょっとということで、シーズン中全体の予算、必要となってきますが、やはり中身としましては、花火の打ち上げ代と、あとは、警備費になっております。人件費の高騰という分で、警備費も上がってきておりますし、あと、花火のほうも値上がりということで、全体が上がってくる中ではなかなか厳しく、花火の個数、内容をちょっと調整したりとか、そういったことで調整されてるということで、今行っておりますが、厳しいというお声はお聞きはさせていただいております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） これ、竹野とかもですね。

○委員（西田 真） はい。

○分科会長（森垣 康平） 竹野振興局の森口参事。

○竹野振興局地域振興課参事（森口 佳徳） 竹野では400万円の補助をいただいております。足りてるか、足りてないかというところなんですけども、今年度ですね、2025年度から財源確保のために、特別観覧席だとか、有料駐車場を設けまして、そちらのほうで財源を確保していただいていると。先ほど城崎のほうでもありましたけども、火薬代だとか、警備のほうの人件費、経費ですね、その辺りが上がってるということもありまして、花火大会としては、規模的には同じぐらいにしたいんですけども、少し経費がかかってきているということもありまして、財源確保のほうに、地域と一緒にやっていくというようなところでございます。以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

○委員（西田 真） 委員長。

○分科会長（森垣 康平） まだ、日高も。

○委員（西田 真） ああ、そうです。

○分科会長（森垣 康平） 日高の夏祭り。

○委員（西田 真） そうそうそう、ごめんなさい。

○分科会長（森垣 康平） 徳味参事。

○日高振興局地域振興課参事（徳味 卓示） 日高の場合は、7月の最終週の日曜日に夏祭りということで、駅前で行っておりまして、その際に100万円の補助ということでさせていただいてます。例年、実行委員会のほうで工夫をしておられまして、100万円の補助ということで何とか回しておられると。あわせて、市だけではなくて、地元地区の協賛団体のほうからそういった協賛金というふうなことも集められて、回していただいているのかなというふうには思います。現時点で具体的に補助の増額等々の要望があるわけではないんですけども、常にその実行委員会を通して、皆様のご意見に耳を傾けながら、いろいろと考えてまいりたいというふうには思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） それぞれ、予算的にも厳しい面もあるとは思いますが、こういう花火を一つの契機として集客をしていただければと思いますし、それも一つだと思いますので、ぜひ観光客の方の集客の一つとして、契機として頑張っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員長、以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ございませんでしょうか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 私のほうから2点お聞きしたいです。

まず1点目は、集落支援員についてです。道の駅と但東のほうで、今回、集落支援員を入れるというような予算があります。集落支援員ということで、地域おこし協力隊と、少しどういった使い方の違いがあるのかなという点が気になるのと、あと、協力

隊であれば3年という任期があるんですけども、その辺で、任期の設定というのをどのように定められているのかということがお聞きしたいです。まず、そのことをお聞きしたいです。

○分科会長（森垣 康平） 日高振興局、徳味参事、お願いします。

○日高振興局地域振興課参事（徳味 卓示） 日高のほうでも、来年度から初めて、道の駅を拠点というふうな形ではあるんですけども、集落支援員を導入させていただくということになります。地域おこし協力隊との端的な違いといいますと、受入れ団体ということで、地域おこし協力隊、これまで日高振興公社であるとか、道の駅であるとかというふうな形でしておったんですけども、今回のこの集落支援員というのは、あくまでも拠点が道の駅ということでありまして、もう地域全体の課題といったものに対して対処をしていただくという、より広い目線で地域の問題に対処していただくというふうなことを目的としております。その辺りが一番大きな違いなのかなというふうに思います。

任期なんですけれども、これも、地域おこし協力隊と、これは似通っておりまして、大体3年ぐらいの任期ということで想定はしておるんですけども、その後につきましては、やはり活動の内容、実績等々に応じて、検討してまいると。やはり先ほど申し上げましたように、地域全体の課題解決という大きなテーマに取り組んでいただくということにもなりますので、その辺りとの兼ね合いも考えながら、整理していきたいなというふうには思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 但東振興局の木下参事、よろしくお願いします。

○但東振興局地域振興課参事（木下 喜晴） 集落支援員につきましては、但東地域では、2025年、今年から入っていただいております。地域おこし協力隊との違いというのが、一番大きいところは、地域おこし協力隊は、受入先がありということなのですが、但東では受入先は、特に設けずに、地域の方と行政とのつなぎ役として、広く活動していただい

ておるところでございます。

任期につきましては、この集落支援員を導入させていただくときに、一つのめどとして3年という形で導入させていただいて、3年たった時点で、効果を検証させていただいて、そのまた引き続きになるのかというようなこの判断をさせていただくということで、この事業を始めさせていただいておるところでございます。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） それぞれ少しずつ、同じ名前の集落支援員ですけども、役割が違うのかなというふうに思います。道の駅の場合は、同じ施設内に観光協会もあるというところで、地域活性化というか、そのことに向けて動いていくという場合は、少し観光協会との連携というのもしっかり考えていかないといけないかなと思うんですけど、その点についてはいかがでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 徳味参事。

○日高振興局地域振興課参事（徳味 卓示） ご指摘のとおり、観光協会、たまたま事務所が同じ道の駅の中にあるんで、近いといえば近いんですけども、これまでも実は活動をしやすい場所、位置関係ではあったんですけども、どうしても地域おこしということになりますと、道の駅がやはりメインになっていくというふうなことでありました。ですが、今後はより、観光協会の運営といった部分にもより切り込んでいくようなことを、実際にもうこちら、期待をしておるところで、仕様の中にも入れさせていただいているところであります。地域全体ということをややはり大前提に考えていただいて、活動していただきたい。観光協会の機能というものも一部担っていただければというふうに期待しておるところです。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 以前、地域プロデューサーという取組がありました。これは、協力隊の前でしたけども、その方々が自由に動かれて、うまく成果が出てるとこと、そうでないところはあるんですけども、それでも地域の中に新しい形で入っていただい

て、今までうまくつながっていないところをつないでいただくことを期待だけではなくて、しっかりと支えていく、応援をしていくという体制もしていただきたいなというふうに思います。

ちょっと話を替えて、もう一つ質問なんですけども、今回、シルク温泉のほうの在り方検討ということが入ってます。そういう意味では、北前館も在り方検討をしていく中で、様々なことをしながら、今年度も新年度予算はあるんですけども、なかなかその糸口が見つからないというのが現状かなと思います。そういう意味では、在り方検討をしていく、今回の但東の集落支援員さんのほうは、そういったところも中心に動かれるんだろうというふうには思っているんですけども、中だけの意見ではうまく糸口が見つからないという中で、それでも在り方を考えていかなければならないということなんですけども、竹野のほうと但東のほう、但東は今からということではあるんですけども、竹野のほうでの現状、新年度予算ではあるんですけども、引き続きどのように、北前館のほう、対応していくのかなということをお聞かせいただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） 吉村局長。

○竹野振興局長（吉村 容子） 2月にサウンディングということでさせてもらってまして、いろいろなご意見もいただいているところです。特に北前館につきましては、長年、指定管理を受けております株式会社北前館が負債を抱えているというような、そういう状況が続いておりますので、長い時間をかけて検討するということにはいかないなというところです。ちょっと今日この場でどうするということは申し上げられないんですけども、早急に、まずは、庁内の関係部局で、去年、昨年度からもう協議をしておりますけれども、今回のサウンディング結果を受けて、どうするかということをもた新年度に入り次第、すぐに取り組んでいくような考えでございます。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 北前館に関しては、本当に北

前船のネットワークにも入っていないかったり、名前と実情というのが少し乖離しているなというふうにも認識はしてます。また、そういう意味では、山陰海岸ジオパークの中にあって、ジオパークの機能というようなことがあってもいいのかなというふうにも思ったんですけども、なかなかそのジオパークの側からも少し北前館のほうのお話をいただいても、うんというふうなお話もちらっとはお聞きしました。という意味では、北前館そのものの機能だけではなくて、竹野として観光客を呼び寄せるための一つの拠点としての考え方をまずまとめる必要があるのかなと思うんですけども、その点について、サウンディングをお聞きするときに、もう自由な発想でということで、何かこちらの望みというか、思いというところが少し何か定まってないまま話を聞いているのかなというふうに思うんです。特に質問ということではないんですけども、改めて竹野としての整理をしながら、しっかり取り組んでいただきたいなというふうに思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ございませんか。

それでは、質疑を打ち切ります。

少し休憩したいんですが、ちょっと走ります。次のコウノトリ共生課で一回休憩入れますんで、ここまでちょっとやらせてください。

次に、コウノトリ共生課、説明をお願いします。コウノトリ共生課、宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 私からは、コウノトリ共生課分の令和8年度豊岡市一般会計予算について説明させていただきます。

まず、歳出です。別冊の豊岡市一般会計予算並びに予算説明書の101ページをご覧ください。

下の枠ですが、環境政策推進費の人件費です。まず、委員報酬の環境審議会委員についてですが、毎年、環境報告書についてご審議いただいておりますが、2026年度は、豊岡市環境基本条例に基づく第2次環境基本計画の計画期間が2026年度をもって終了するに当たります。新たに、その後、第3次環境基本計画を策定するため、審議会をプラス

して5回開催することとしておりまして、この分の増額をしております。

また、その下、会計年度任用職員報酬ですが、2人のうち1名分は、計画提案が採択された脱炭素先行地域事業の事務補助に係る会計年度任用職員として増員しております。

その下、環境政策推進事業費です。先ほど説明しました第3次環境基本計画策定に関する事務費や、次の103ページになりますが、一番上、太陽光発電事業特別会計繰出金、これを計上しております、この繰出金の部分としましては、2023年度に山宮地場ソーラーののり面復旧の際に災害復旧事業債から借り受けました費用の元金と利子分を償還するものとなっております。

次に、上から2つ目の事業、太陽光発電システム導入補助事業費です。市全域を対象としました個人向けの補助を、蓄電池も含み、1,120万円、それから、事業者向けを300万円、計1,420万円を計上しております。

その下、木質バイオマス導入補助事業費です。ストーブ、まき、ペレットのストーブ、ボイラーの購入費の補助15件を見込みまして、300万円を計上しております。

次に、その下、脱炭素先行地域推進事業費になります。第7回の脱炭素先行地域への公募で採択されました本市の計画提案を確実に推進し、2030年度までの対象エリア内の民生部門電力に係る二酸化炭素排出量の実質ゼロと、それから、地域観光の再生、脱炭素産業の創出などを通じた地域活性化を目指します。初年度となります2026年度は、まず、市民や事業者を対象として脱炭素行動を牽引できる人材を育成します脱炭素アカデミー事業を引き続き行い、先行地域事業と一緒に引っ張っていただく人材を育成していきます。運營業務委託料として100万円を計上しております。また、その下の地盤調査業務になりますが、これは、小河江の太陽光発電設備の整備に関しまして、地盤面の強度等を調査するための費用として3,405万6,000円を計上しております。その下の負担金についてで

すが、総務省の地域活性化起業人制度を活用しまして、特に電力事業等に専門的な知識を持っておられる方を企業から派遣を願い、事業を確実に推進していくというふうに考えておるものです。それから、その下の補助金になります。2026年度の補助金につきまして、主なものを説明させていただきます。まず、太陽光発電システム設置費ですが、住宅用の太陽光発電システム、それから、ソーラーカーポートも対象としましたもの、それから事業者用の太陽光発電、蓄電池は住宅用、それから事業者用ともに対象としまして、合計6,550万円を計上させていただいております。大体主な件数としましては、住宅用10件、ソーラーカーポート10件、それから、事業者用5件で、蓄電池は合わせて25件ぐらいを想定しております。それから、その1つ、2つ目になりますけども、木質バイオマス機器の設置補助金としましては、まきストーブ、まきボイラーを対象としまして、合わせて15件分、住宅用と事業者用合わせて15件分として、1,200万円を計上させていただいております。その他、高効率の空調、給湯機などの省エネ設備の設置、また、EV充電器の設置の補助金についても計上させていただいております。

次に、105ページをご覧ください。コウノトリ文化会館管理費です。保守点検委託料にありますフロン排出抑制法定期点検は、文化会館のエアコンは、ガスヒートポンプエアコン、GHPというものを使っております、その機器につきましては、フロン抑制法に基づいて、設置後6年、または、積算運転時間が1万時間の早いほうでの点検を実施する必要があります。現在のガスヒートポンプエアコンは、2020年度に設置しておりますので、2026年度に点検を実施をすることになっておりまして、そのための費用となります。

その下、コウノトリ野生復帰推進事業費です。その中の下のほうになりますけども、補修工事費にありますコウノトリ本舗ですが、これは、コウノトリ本舗の中のエアコンが1台壊れておりまして、その故障に伴い入れ替えるものの費用となっております。

す。

次に、107ページをご覧ください。上から3つ目の事業、生物多様性推進事業費ですが、豊岡市生物多様性地域戦略に基づき取組を進めるために、ノアの方舟のような希少種保護の取組ですとか、中筋地域にあります自然共生サイトでの里地・里山保全、また、外来種対策行動計画に基づいた外来種対策としてのオオキンケイギクの駆除作業などを行っていくことを考えておりまして、そのために必要な経費などを計上しております。

次に、131ページをご覧ください。一番下の地域おこし協力隊推進事業です。このうち、コウノトリの舞う豊岡の豊かな自然と文化をつなぐレンジャーなど2名分、1,096万6,000円がコウノトリ共生課分となります。

次に、歳入の説明をいたします。

61ページをご覧ください。3つ目の太枠になりますが、太陽光発電事業特別会計繰入金で3,340万6,000円を計上しております。これは、竹貫地場ソーラーの用地買戻し費用に1,500万円、それから、防犯灯対策事業費に85基分、102万円、それから、環境政策推進事業に18万6,000円、これは審議会報酬分ですね、それから、太陽光発電システム設置補助金に1,420万円、木質バイオマス機器導入補助に300万円を充当するものであります。

続きまして、63ページをお願いします。一番上の太枠、上から2つ目になりますが、コウノトリ基金繰入金に1,993万円を計上しております。コウノトリ共生課所管の野生復帰事業や生物多様性推進事業などへの充当、それから、学校給食で提供しておりますコウノトリ育むお米の差額補填分などを合計したものを計上しております。

続きまして、その下の中ほど、地域振興基金繰入金になります。脱炭素先行地域推進事業に3,500万円、それから、コウノトリ文化館管理費に3,200万円など、そのうち7,300万円がコウノトリ共生課分となります。

続きまして、73ページをご覧ください。雑入に

なりますが、中ほど、上のほうに補助金・交付金とあります。その上から3つ目、二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金です。これは、さきに説明しました脱炭素先行地域事業の実施に係る補助金として、国のほうから1億4,023万4,000円を歳入するものです。

その他の項目につきましては、金額に多少の増減はありますが、前年度と同様ですので、説明は省略させていただきます。

なお、債務負担行為及び地方債はございません。

コウノトリ共生課の説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

暫時休憩します。

午前11時08分休憩

午前11時14分再開

○分科会長（森垣 康平） すみません、それでは、会議を再開いたします。

先ほどのコウノトリ共生課に関して、質疑はありますか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点か確認をさせてください。

まず、小河江の地盤調査の件ですけど、3,400万円の計上ですけど、小河江のこれからのことも含めて、ちょっとお聞かせいただければと思います。

○分科会長（森垣 康平） 暫時休憩します。

午前11時14分休憩

午前11時15分再開

○分科会長（森垣 康平） ちょっと会議を再開します。

宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 小河江の地盤調査についてですが、新年度、地盤調査を行いまして、地耐力等を調べて、こういった規模の太陽光が載るのか、規模は、一応、計画提案の中では想定してるんですけども、それを確実にし、それから、それに対します総工費ですね、そういったものが決まりますと、今回、小河江に設置します太陽光発電設

備につきましては、P P A事業を想定しておりますので、そういった総工費が分かりますと、そこから送られてくる電気代等が分かってきますので、そういった電気代等を精査して、計画を立てまして、その後、翌年度以降、2027年度以降、実施設計、それから設置という形になっていこうかと、今、スケジュールを想定しております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 設置完了は2028年度、それぐらいの予定で進められるということによろしいでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 現計画提案の中では、2028年の設置ということで進めております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 了解です。よろしくお願いします。

あと、太陽光の補助金の件ですけど、住宅用10件とか、ソーラーの分が10件、もうちょっと詳しく教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 脱炭素先行地域事業のほうのということでよろしいですか。

○委員（西田 真） はい。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 脱炭素先行地域事業のほうの太陽光発電システムの設置補助金につきましては、自家消費型ということになっております。自家消費型で太陽光の発電システムを設置する場合、住宅用で補助率3分の2、補助上限が100万円で、想定件数を今のところ10件というふうにしております。また、カーポートのほうにつきましては、補助率3分の2、補助上限額は120万円、想定件数を10件というふうに置いております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） この補助率3分の2ということで、10件ずつなんですけど、この件数は何かそれらしい手挙げとか、そんなん、何かありますか。それで足りとるかどうかということですけどね。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 想定件数としては、できるだけ早く入れるということが環境省のほうからも事業計画を進める上では求められておりますが、無理のない程度ということで、これまで現地も歩かせていただいた中で、想定できる範囲の件数というふうにしております。また、補助金の部分としては、例えば蓄電池の部分を住宅用太陽光のほうに持っていくとかも可能だとは思っていますので、そういったことで対応していきたいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ぜひよろしくお願ひしたいと思いますが、この予算で打ち切って、この間みたにぱっと、もう2日間ぐらいで終わってしまったとか、そういうことがないように、よろしくお願ひしたいと思いますけど、その辺、いかがでしょう。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） ご心配を分かります。5年間の計画で、想定しております件数として100件以上の部分を想定しておりますので、計画に沿って、しっかりと進めていきたいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ぜひよろしくお願ひします。

あと、フロン排出抑制の分が出とったんですけど、ちょっと詳しく教えていただければと思います。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 文化館のほうのフロンの排出抑制につきましては、先ほど説明させていただいたとおりなんですけど、フロン抑制法というものに基きまして、設置後6年、または積算運転時間が1万時間の早いほうで点検を求められておりますので、今回、繰り返しになりますが、2020年度に設置しておりますので、2026年ということで、設置後6年ということのほうに早いほうに当たりましたので、今回、定期点検をさせていただくというものであります。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） これ以外にもたくさんあるんですかね。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） ちょっと私のほうでは、ほかの施設は把握しておりませんが、文化館、2000年に設置されたときに、やっぱりコージェネレーションみたいなことも含めて、そういった、当時、多分、最新の設備を使っておると思いますので、これまでガスヒートポンプということでのエアコンを使ってきたという経緯がありまして、今もガスヒートポンプエアコン、GHPというものを使っておるような次第です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） こういう基準にのっとってやとられるわけですけど、なかなか使い勝手が悪いといえますか、そういう基準があるんで、これ以外で使うことは可能なんでしょうか。これしかないということでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） ガスヒートポンプの部分では、私もよくは分かっておりませんので、これ以外で使えるかどうかというのは、何かあるのがちょっと分からないところであります。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） また後日でいいんですので、分かったらちょっとまた教えてください。こういう使い勝手が悪いのはちょっとあんまり、6年ごとということで、それはそれでええんかもしれないんですけど、ちょっと気になりましたんで質問させていただきました。

委員長、以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ありませんか。
清水委員。

○委員（清水 寛） まず、脱炭素アカデミーについて、引き続きの予算立てというようなお話だったと思うんですけども、そういう意味では、この脱炭素の取組はしっかりと皆さん認識を高めてもらうということが大事で、このアカデミーの位置づけですごく重要なと思うんですけども、その辺で、

今現在やってる部分と、次年度に引き続きどういふところを変えていくのか、より多く、広く広げていくというような取組が何かあれば教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 今年度、先んじて行ったという形になりますが、今年度の方々、約15名については、引き続き何かの形でこういったことに関わりたいというような感想をいただいております。そういったの方々、それから、来年度、新たに始めまして、特に脱炭素先行地域エリアの方々も中心として募っていく中で、そういった市内外全域の方々のネットワークも含めて、うまく構築していきたいなというふうに思っておるところです。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） そういう意味では、この取組でされた方が、さらにその方々がその先につなげていく、そういった取組も必要なのかなというふうにも思いますし、先ほど起業人派遣というような話もありました。今議会で補正予算では起業人がなかなか見つからずというので予算を落としているというケースもたくさんあるんですけども、そういう意味では、このアカデミーでの取組に特化した方、もしくは先生方とか、そういう方を何かうまく起業人派遣のところに引っ張るというようなことができていいのかなと思うんですけども、改めて、そのアカデミーのところの取組の拡大の考えと、起業人派遣のその講師の当てというか、その辺をどういふふうに考えておられるか、教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 脱炭素アカデミーにつきましては、今年度も、Climate Integrateさんが中心となって、6回にわたる授業も行っていていただいています。そういったClimate Integrateの代表であります平田仁子さんの人脈などを利用して、既にもう何か所かアプローチはかけさせていただいたり、お話を聞かせていただいたりということも、起業人派遣のほうでも行っておりますので、引き続きそうい

った人脈を頼った形を行っていきたいと思っておりますのと、それから、今回の脱炭素先行地域では、共同提案者の方々も、企業にも多く入っていただいておりますので、またそういった方々にもお話を伺いながら、最適な人材を引っ張ってこれたらというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） これからの取組ということで、伸び代しかないということですので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ございませんか。

前田委員。

○委員（前田 敦司） 一般質問でも脱炭素先行地域のことやり倒したんですが、ちょっとここ、気になったところがあったので、確認させてください。

既に話題にも上がってますが、補助金の部分です。住宅、カーポート、蓄電池等々で、件数だったり、いろんなめどで見込んでおられるんですけども、例えばこれを超える希望があった際というのは、補正予算なんかを組んで、予算を追加で持ってくるものなのかどうかというところを教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 国の交付事業にもなりますので、国にも計画変更を出しながら対応していくということになろうかと思います。

○分科会長（森垣 康平） 前田委員。

○委員（前田 敦司） そういった際というのが、例えば1次募集はいつまで、2次募集が半年先とか、1年先だったら、もう来年度になるんですけど、そこら辺のタイムラグというのがどの程度出そうですか。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 補助金総額として持ってるものの中では、例えばほかの補助金の省エネの部分で、件数が少なかったりすると、そちら側の分も使えると思いますので、そういったタイムラグはなるべく出ないように、対処、対応していきたいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 前田委員。

○委員（前田 敦司） この手のタイプというのが、導入が早ければ早いほど、変な話、得をするみたいな要素があるようなものかなと思っているので、そこら辺で積極的に取り組んでいただける方が増えていくのはいいことなんですけれども、内輪でもめないように、そういったご配慮もいただけたらというふうに思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、質問ありませんか。

○委員（西田 真） 委員長、1点だけ。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 外来種の駆除の話、107ページで出とったんですけど、どんな種別を想定されて予算計上されてるのか、教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） まず、外来種対策行動計画に基づきまして、オオキンケイギクの駆除というのを、区のほうにもお世話になりまして、各地区のほうにもお世話になりまして、クリーン作戦と併せた中での外来種駆除の呼びかけを行ってましたり、それから、大規模湿地ですね、加陽だとか、それから、戸島だとか、そういった大規模湿地におけます外来種駆除なども取り組んでおります。また、そういったものでは、アライグマのほうの問題も出てますので、アライグマの調査事業なども、今年度も行っておりますが、来年度も引き続き行うようなことを考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 外来種でも、植物であったり、生き物であったり、いろんな外来種があるんですけど、その辺の駆除みたいな検討はされてるかどうか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 外来種につきましては、特定外来種に相当しますものが、豊岡では大体16種入ってきてると言われております。その中で、植物もちろんありまして、例えばオオキンケイギクなんかもそうなんですけど、そういったも

の駆除を的確に市民協働も含めましてやっていくということ、それから、他のまだ侵入してきていない特定外来種につきましては、やっぱり早期発見、早期防除というのが基本となると思いますので、そういった市民の方々へ、見かけない動植物を見た場合に、しっかりと連絡していただくようなことも含めた普及啓発ということを進めていきたいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員

○委員（西田 真） この外来種駆除というのは毎年されとって、来年度も計上されとるということでよろしいですかね。

○分科会長（森垣 康平） 宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） 2025年、昨年の2月に外来種対策行動計画というのを策定しまして、本格的に進めていくというか、市民協働でしっかりと進めていくとしましたのが、今年度、2025年度からになります。来年度も引き続き取組を進めていきたいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 外来種というのは本当に多いんで、その辺の駆除は本当に大変だと思いますけど、区の人も協力していただいて、これ以上増えないように、新しく侵入するのをもすぐ市民の方に教えていただくとか、そういう対策もせんと、何ぼでも増えるばかりですから、その辺もよろしくお願ひしときたいと思います。

委員長、以上です。

○分科会長（森垣 康平） それでは、そのほか、ありませんか。

質疑を打ち切ります。

ここで建設経済分科会を暫時休憩いたします。

午前11時30分 分科会休憩

午前11時30分 委員会開会

○委員長（森垣 康平） ただいまから建設経済委員会を再開いたします。

それでは、第33号議案、令和8年度豊岡市太陽光発電事業特別会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

コウノトリ共生課、宮垣課長。

○コウノトリ共生課長（宮垣 均） それでは、第33号議案、令和8年度豊岡市太陽光発電事業特別会計予算について説明させていただきます。

まず、別冊の令和8年度豊岡市特別会計予算並びに予算説明書の203ページをご覧ください。33号議案ですが、本案は、第1条で、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億280万7,000円と定めております。また、第2条で、一時借入金の最高額を1,000万円と定めております。

内容につきましては、別冊資料ナンバー1の2026年度豊岡市予算についてで説明させていただきます。

資料の66、67ページをご覧ください。初めに、本特別会計は、山宮、それから但馬空港、それから竹貫の3か所の地場ソーラーの管理運営に係る予算を定めるものです。歳入及び歳出予算総括表のほうから、主なものを説明させていただきます。

まず、下段の2、歳出予算総括表をご覧ください。総務費の884万7,000円は、事業執行に伴う事務費と、それから、基金積立金を計上しています。昨年度に比べ1,525万6,000円を減額しておりますが、この減額の要因は、その下の施設費の欄に委託料というものがありますが、来年度、竹貫地場ソーラーの大規模メンテナンスを行うこととしておりまして、その分、大幅に委託料が増額になるため、積立金が減額になるものです。

その下、施設費に関しましては、それに伴い、昨年度に比べまして1,344万8,000円の増額となっております。

それから、諸支出金では、一般会計への繰出金を3,340万6,000円を計上しておりますが、昨年度に比べて309万円減額しております。これは、脱炭素先行地域に採択されたために、先ほども説明しましたが、脱炭素に関する人材育成事業などの取組が国の補助金を受けられるようになったこと、また、4年に一度、市内の太陽光発電設備の点検をしておりますが、来年度は、それがいないために、

その点検がないために減額となっておる分になります。

次に、上段の1、歳入予算総括表です。そこでは、財産収入で、生産物売払収入が1億33万円を含め計上しております。

繰入金ですが、今年度は、山宮地場ソーラーの監視カメラの修繕とパワーコンへの機能付加のための基金を約400万円を崩して繰り入れていましたので、増額しておりましたが、来年度につきましては、山宮地場ソーラーの災害復旧債の元金と利子の償還分についてのみ一般会計から繰り入れしております。

その他、必要な歳入を計上しております。

説明は以上となります。

○委員長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） ご異議なしと認めます。

よって、第33号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で午前の議案審査は終了いたしました。

この際、当局の皆さんから特にご発言はありませんか。

それでは、ここで建設経済委員会を暫時休憩いたします。

午前11時35分 委員会休憩

午後 0時55分 分科会再開

○分科会長（森垣 康平） それでは、皆さんおそろいになりましたので、建設経済分科会を再開いたします。

それでは、第26号議案、令和8年度豊岡市一般

会計予算を議題といたします。

当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔にご説明をお願いします。

説明については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順にお願いいたします。

なお、説明に当たっては資料のページ番号をお知らせください。

質疑は、全体の説明が終わった後に、部ごとに一括して行います。

それでは、コウノトリ共生部、農林水産課、環境経済課の順に説明をお願いします。

農林水産課、浪華課長、お願いします。

○農林水産課長（浪華 誠） それでは、農林水産課の当初予算について説明をさせていただきます。

農林水産課は多くの事務事業を所管しておりますので、新規事業などの主要な事業を中心に説明をさせていただき、そのほかのものは割愛させていただきますので、ご了承ください。

まず、歳出予算になります。

93ページをご覧ください。説明欄の上から10行目になります。基金管理費です。その中の下のほうになりますが、森林環境基金積立金に30万3,000円を計上しています。森林環境譲与税を、バッファゾーン整備補助金ですとか、自伐型林業推進などの事業の財源として活用させてもらって、残った部分をこの基金に積み立てるものです。

次は、205ページをご覧ください。農林水産業費です。上から4つ目の項目になりますが、有害鳥獣駆除対策事業費と、その下の項目になります鳥獣被害防止緊急対策事業費、この2つの事業により、捕獲と防除の両輪で有害鳥獣対策を推進します。

駆除対策では、引き続き年間6,500頭を目標に鹿の捕獲に取り組むとともに、熊による人身被害を未然に防ぐため、市が主体となって柿や栗などの不要果樹の伐採に取り組みます。また、新たに豊岡狩猟スクールを開校し、ベテラン捕獲員による新人ハンターへの指導や技術の継承によって有害鳥獣

駆除を担う人材の育成を図ります。もう一つ、新規事業としまして、鹿肉の利活用促進に取り組みます。山の中で捕獲された鹿を捕獲範囲や鹿肉の処理事業者が現地で出張回収し、市内の解体処理施設に搬入することで、ジビエやペットフードの資源としての活用を促進します。

次に、防除対策では、豊岡市野生動物被害対策推進協議会を通じて、防護柵の設置を支援します。新たに設置するのは、金網柵が1集落で、延長が400メートル、電気柵が4集落で、延長が約3.9キロメートル、ワイヤーメッシュ柵が7集落で、延長が約13キロメートルを予定しています。

次は、その下、中山間地域等直接支払事業費です。急傾斜地等の条件不利地の生産活動を支援するもので、37集落で約258ヘクタールの農地を対象に支援をします。

次のページ、207ページをお願いします。一番上の多面的機能支払事業費は、水路の泥上げや農道の補修など、農地の維持、共同活動を促進するもので、来年度は、共同活動の取組で128組織、施設の長寿命化で97組織に対して支援をします。

その下の環境保全型農業直接支払事業費は、有機農業や堆肥の施用など、環境保全効果の高い取組を支援するもので、来年度は、約374ヘクタールの取組を支援することとしています。

次は、4つ下の項目になります。新規就農総合支援事業費です。この中の補助金のうち、新規就農者確保事業費補助金5,190万円は、国の制度によるもので、その下の若手農家支援事業費補助金1,944万円は、市の単独事業によるものです。補助の内容は、国の制度のほうで、新規就農者の農業機械等の導入や就農してから最長3年間、年間165万円の経営資金を交付するもので、市のほうは、農業用機械の導入やIターン就農者等の家賃を支援するものになります。

その下、豊岡農業スクール開校事業費です。農業スクールは、来年で14年目を迎えますが、市内での就農を希望される方に対して、農業に必要な生産技術等の研修を委託により行うものです。新規の入

校生5人分と、継続するスクール生の1名を合わせて、合計6名分の経費を計上しています。

次は、209ページをご覧ください。上から6行目、有機農業産地づくり推進事業費です。学校給食用米の無農薬米への全量転換や無農薬野菜の利用など、オーガニックビレッジ宣言の実現に向けた取組を推進しています。内容としましては、賄材料費として、無農薬米と一般米との差額を補填する費用を計上しているほか、学校給食用無農薬米拡大支援事業費補助金として440万円を計上していますが、これは、コウノトリ育む農法で無農薬米つきあかりを生産する農家に対して、10アール当たり2万円を支援するもので、生産意欲の向上と経営の安定化を図り、生産者及び作付面積の増加につなげることで、目標であります2027年度の全量転換を実現したいと考えています。

また、2つ下のみどりの事業活動を支える体制整備事業費補助金として400万円を計上していますが、こちらは、国の補助制度を活用した新規の補助金になります。内容は、みどりの食料システム法に基づき、県が認定をします特定みどり認定という制度があるんですが、その認定を受けて、無農薬栽培に取り組む農業者が対象で、無農薬栽培に必要な除草機ですとか、堆肥散布機などの機械導入を支援するものです。全額を国の補助金で賄うため、市からの持ち出しはありません。

次は、ページの一番下の項目になります。農業用施設管理費です。この中の投資委託料の調査設計としまして6,500万円を計上しておりますが、内容は、2つありまして、一つは、但東町にあります7か所の老朽したゴム堰、これにつきまして、統廃合による施設改修に向けた調査検討に3,500万円、もう一つは、蓼川用水路の老朽化した農業用樋門について、それぞれの状況を調査し、施設の改修等により機能回復を図るための調査検討を行うものが3,000万円となっています。いずれも全額を国の補助金で賄うため、市からの持ち出しはありません。

ページの一番下になりますが、補修工事費の6,

100万円については、出但トンネルと清滝トンネルの補修工事が3,100万円、広域農道1号線の舗装修繕に3,000万円を予定しています。

以上が主立ったものになります。

次は、211ページをお願いします。一番上の項目になりますが、基盤整備促進事業費です。事業内容につきましては、農道橋の耐震化と長寿命化事業に加えて、内町と竹野地区の圃場整備事業、あと、出石町伊豆地区の用排水路整備と小坂西部土地の幹線水路等の整備を進めてまいります。

次は、林業関係になります。

215ページをお願いします。ページの一番下になります。215ページの一番下になりますが、治山事業費は5,320万円を計上しています。県の補助を受けて行う防災対策工事が1,740万円で、但東町唐川地区での実施を予定をしています。また、市の単独事業としまして、城崎町桃島や竹野町森本地区など、合わせて3,580万円の防災対策工事を予定をしています。

次は、217ページをお願いします。上から3つ目の項目、住民参加型森林整備事業費です。補助金の住民参加型森林整備事業費補助金につきましては、兵庫県の災害に強い森づくり事業を活用して、地域住民が自ら行う森林整備活動を支援するもので、活動に必要な資機材の購入や危険木の伐採などを予定をしています。全額を県の補助金で賄うため、市からの持ち出しはありません。

その下、森林環境整備事業費です。森林・林業ビジョンに掲げます森林整備や人材育成、人と森林のつながりを推進するための事業に取り組みます。この中の5行目になりますが、業務委託料としまして1,741万4,000円を計上しています。委託料の主な内容としましては、森林Jークレジットの2027年度の販売開始を目指し、継続して事前準備業務に取り組むほか、自伐型林業を推進するための実践的な講習会を開催するなど、林業人材の確保に向けた事業に取り組みます。また、補助金には4,700万円を計上していますが、このうち、獣害対策緩衝帯森林整備事業費補助金、いわゆるバッフ

ァーゾーン整備補助金と呼んでおりますが、この補助金に2,500万円を計上しております。市民の皆様から大変多くの要望をいただいております、昨年度の当初予算額の1,400万円から大幅に増額をしています。その下の自伐型林業推進事業費補助金は、こちらは、新たに創設した補助金になりますが、内容は、自伐型林業者が行う作業道の開設や切捨て間伐、搬出間伐に加えまして、作業に必要なとなる林業機械のレンタル費用を支援するものになります。

次は、水産関係になります。

219ページをお願いします。下の枠の水産業振興事業費です。この中の4行目、負担金ですが、漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業費負担金は、国の補助金を活用して、新たに藻場の保全対策に取り組むものになります。これまでから竹野地域の沿岸では、サザエやアワビ漁が行われていますが、近年では温暖化やウニによる食害などから、磯焼けといひまして海藻が少なくなる現象なんです、磯焼けが進行しまして、サザエ等の貝類が減少するなど、漁業への影響が生じております。このため、来年度からの5か年事業で、藻場の再生に取り組むことになりました。今回の事業では、海藻の種苗を定着させるための母藻と呼ばれる着床基盤、これを海中に沈めることとしておりますが、この母藻の製作に海藻が付着しやすく、また、環境負荷低減にもつながる木材を活用したいと考えておりまして、木質ファイバーの技術を持つ大建工業にも協力を仰ぎまして、市と但馬漁協との3者連携により事業を推進したいと考えております。

次は、歳入予算になります。

21ページをお願いします。歳出で説明しました事業の中からポイントとなる歳入予算を説明します。

ページの一番下、森林環境譲与税です。新年度は1億1,450万8,000円を予定しております。歳出予算で説明しました森林整備等の財源として活用していきます。

次は、41ページをお願いします。一番下の地域

未来交付金の地域未来推進型のうち、農林水産課分は900万円です。新規就農総合支援事業費の若手農家支援事業補助金に充当しております。

次は、51ページをお願いします。一番下の枠になります。県補助金の農業費補助金です。2番目の基盤整備促進事業費補助金は、竹野地区と小坂西部地区の圃場整備等に係る国からの補助金になります。

次のページ、53ページをご覧ください。上から7つ目の項目になりますが、新規就農総合支援事業費補助金は、新規就農者の経営開始を支援する資金と、あと、農業機械等の導入補助分となります。この枠の下から2つ目の項目になりますが、ツキノワグマ管理総合対策事業費補助金は、市が事業主体となって実施をします柿の木などの不要果樹伐採に係るものになります。その下の水利施設等保全高度化事業費補助金は、但東町にあるゴム堰の統廃合による改修に向けた検討ですとか、蓼川用水路の農業用樋門改修に向けた調査検討業務に係るものです。

次に、下の枠の林業費補助金です。4つ目の住民参加型森林整備事業費補助金は、県の災害に強い森づくり事業を活用し、地域住民が行う森林整備活動に必要な資機材等の購入を支援するものです。

次は、63ページをお願いします。上から2つ目の項目、コウノトリ基金繰入金のうち、農林水産課分は342万9,000円です。学校給食への無農薬米、無農薬野菜の提供に伴う慣行米や慣行野菜との価格補填に充当するものです。

4つ下の地域振興基金繰入金ですが、農林水産課分は、このうち1,600万円で、新規就農総合支援事業など、3つの事業に充当しております。

次は、75ページをご覧ください。市債になります。

一番下の枠になりますが、土地改良事業債と、その下の項目のたん水防除施設整備事業債、それと、次の77ページになりますが、一番上の林道整備事業債と治山事業債につきましては、それぞれ記載のとおり、事業の財源として地方債を発行する予定です。

次は、債務負担行為になります。9ページをお願いします。

上から4つ目、農業経営基盤強化資金利子補給事業と、その下の美しい村づくり資金利子補給事業について、令和8年度事業分としてそれぞれ記載のとおりの限度額を設定しております。

最後になります。地方債です。10ページをお願いします。

真ん中より少し下辺りになりますが、土地改良事業費として8,120万円、その下、たん水防除施設整備事業費として430万円、その下、林道整備事業費として690万円、その下、治山事業費として3,940万円を計上しております。

農林水産課からは以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

続きまして、環境経済課、瀬崎次長、よろしくをお願いします。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

当課が所管させていただきます令和8年度の当初予算案につきまして、主要な事業を中心にご説明をいたします。

まず、歳出からご説明いたします。

93ページをお願いいたします。説明欄の10行目になります。基金管理費です。このうち、当課で所管させていただきますのが、18行目、コウノトリ基金積立金のうち1,300万円、その7行下になります。地域振興基金積立金8億3,700万円をふるさと応援寄附金を元とした積立てとして要求しております。

次に、97ページをお願いいたします。説明欄の真ん中辺りになります。ふるさと応援寄附金推進事業費です。新年度は、寄附金の目標額を17億円といたしまして、寄附金受入れに伴います必要となる事業費の分として、業務の委託料ほか、合計で8億5,000万円の要求としております。主な内訳といたしましては、返礼品の調達や送付に必要な経費として5億3,788万円、広報や決済に必要となります経費として4,561万9,000円、ECサイトの手数料ほか、事務費用といたしまして

2億6,650万1,000円を要求しております。

大分飛びまして、131ページをお願いいたします。地方創生事業になります。説明欄の18行目になります。稼ぐ力強化総合事業です。新規事業といたしまして、市内の中小企業の皆様が収益性や生産性を高めていただく上で必要となります戦略の立案、競争力の強化などに関しまして、それぞれの過程において必要な施策を支援し、地域経済の持続的な成長と安定した雇用の創出を図ることを目的としまして、国の地域未来交付金を活用させていただき、支援する事業費として、合わせて5,464万円を要求するものです。

同じページになります。下から3行目、地域おこし協力隊推進事業費の業務委託料のうち、当課では、2名の隊員の費用といたしまして1,096万6,000円を要求しております。

次に、133ページをお願いいたします。説明欄の下から13行目になります。地域経済担い手育成事業費です。こちらも、地方創生事業としまして、多様な創業、また、事業の承継、これを支援する必要があります。併せて、成長段階に応じた伴走型の支援として、商工団体の皆様と連携して、地域に根差した経済の担い手を創出することを目的として、ビジネス相談窓口、通称IPPO TOYOOKAの運営、操業への支援、事業承継への支援として、合わせて2,011万5,000円を要求しております。

少し飛びまして、143ページをお願いいたします。説明欄の上から2区分目になります。経済センサスの調査費です。新年度は、5年に1回実施されます国の経済センサス活動調査の年に当たります。必要となります人件費414万4,000円と調査の事務費用73万6,000円、合わせて488万円を要求しております。

次、大分飛びます。199ページ、併せて201ページをご覧ください。まず、199ページの説明欄の一番下になります。労働総務費です。地域の雇用促進と若手人材の育成、この支援といたしまして、兵庫県雇用開発協会への負担金21万円と、201

ページに移ります。説明欄の1行目になります。補助金といたしまして、新規学卒者の研修事業費、併せて、新年度から開始いたします中小企業奨学金返済支援事業としまして、合わせて232万5,000円を要求いたしております。

その1行下になります。勤労者住宅金融対策事業費といたしまして、勤労者の皆様の福利厚生事業として、住宅の新築、改築に係る費用の融資を行うもので、近畿労働金庫様に預託を行い、2倍の協調融資を行う予算といたしまして4,000万円を要求いたしております。

大分飛びまして、221ページをお願いいたします。説明欄の2項目になります。上から3行目、商工振興事業費です。商工会議所、商工会等への運営費の補助金や会員事業者の皆様の経営安定を支援する業務の委託料といたしまして、記載額のうち、当課に係ります予算といたしまして4,183万5,000円を要求いたしております。

次に、同じページの説明欄、下から5行目になります。中小企業金融対策事業費です。取扱金融機関に預託を行いまして、4倍の協調融資で市内の中小事業者の皆様の運転資金や設備投資に必要な資金の融資を行い、経営の支援を行う事業費といたしまして、利子補給金と貸付金を合わせて5億2万5,000円の予算を要求いたしております。

続きまして、223ページをお願いいたします。説明欄の上から9行目になります。中心市街地活性化事業費です。新年度は、宵田商店街振興組合が兵庫県の助成制度を活用され、アーケードの改修事業を取り組まれることになりました。この事業は、市の義務随伴として総事業費の6分の1が必要となります。その費用として173万6,000円ほか、計204万6,000円の要求をいたしております。

次に、同じページ、11行下になります。企業誘致推進事業費です。産業基盤の強化や雇用機会の増大を図るため、市の条例で定めます工業等設置奨励金や雇用奨励金のほか、2023年度からIT企業の誘致として取組を進めましたコワーキングスペースの開設支援への補助金として、合計6,516

万4,000円の補助金、また、将来の産業基盤の構築に向けた準備の一環といたしまして、新年度、一般財団法人日本立地センターが実施をします産業用地選定事業、これを活用させていただいて、客観性及び信頼性の高いデータに基づく産業用地の適地選定調査業務を実施したいと考えており、その委託料として448万円を、その他関連する費用と合わせて、合計6,994万円を要求させていただいております。

次に、225ページをお願いいたします。特産振興事業費です。地場産業の振興に伴う事業費といたしまして、かばん産業、その他伝統産業の振興支援と併せまして、地場産業振興センターへの支援として2,157万2,000円を要求いたしております。

次に、227ページをお願いいたします。説明欄の一番下になります。工場公園等管理費です。神美にあります豊岡中核工業団地及び日高にあります三方東部工業団地の環境維持に係る費用とし937万3,000円を要求いたしております。新年度は、特に豊岡中核工業団地内にあります汚水ポンプ施設内のコンデンサーを更新する予定にしております、その工事費として155万3,000円を要求しております。

次に、歳入をご説明いたします。

41ページをお願いいたします。説明欄の一番下の区分になります。地域未来の交付金のうち、稼ぐ力強化総合事業費として2,732万円を、地域経済の担い手育成事業費として1,005万7,000円を、特産振興事業費として293万5,000円、合計4,031万2,000円を充当すべく、予算化しております。

少し飛びまして、57ページをお願いいたします。2つ目の区分になります。節の5、統計調査費委託金の説明欄の中の一番下、経済センサス調査事務委託金といたしまして632万2,000円を要求しております。

59ページをお願いいたします。2つ目の区分になります。節の1、土地建物貸付収入の説明欄の2

行目になります。建物貸付収入のうち、但馬地域地場産業振興センターのフロアの貸付分と、青空市場の貸付分の収入として204万7,000円の要求しております。

61ページをお願いいたします。2つ目の区分の節の1、総務管理費寄附金の説明欄の上から2行目になります。ふるさと応援寄附金として17億円を予算化しております。

63ページをお願いいたします。説明欄の6行目になります。地域振興基金繰入金のうち、9億円をふるさと応援寄附金分として予算化しております。

65ページをお願いいたします。2区分目の真ん中辺りになります。労働諸費貸付金元利収入の労働者住宅融資資金貸付金元利収入といたしまして4,000万円を予算化しております。

次に、同じページの1区分下になります。中小企業普通融資資金貸付金元利収入といたしまして5億円を予算化しております。

最後に、債務負担行為についてご説明をいたします。9ページをお願いいたします。

上から6番目になります。中小企業融資資金に係る損失補填（令和8年度事業分）といたしまして、兵庫県信用保証協会に対します損失補填の相当額として1,400万円の限度額を設定しております。

環境経済課からの説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点か確認させてください。

まず、農林水産課のほうの有害鳥獣なんですけど、目標は6,500頭ということで、鹿ですけど、これは同じ頭数になってますけど、熊のほうの頭数の目標はあるかないか。そして、去年、実際に鹿、まだ3月終わってないんですけど、鹿は実際どれぐらい駆除されたか。ほんで、熊の駆除の頭数も教えていただきたい。そして、最近はどう鹿がかなり少なくなってきたといううわさはあるんですけど、うちの地域ではそんなことはないんですけど、実際にどれだけ減つとるかというような状況も教えていた

だきたいと思います。取りあえずよろしくお願いします。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） まず、熊につきましては、今年度は13頭を捕獲しております。すみません、11頭捕獲しております。熊の捕獲目標というのは、何頭というのはございません。基本的には、民家近くに下りてきたとか、いわゆる許可が出ているわなで捕まった熊を対処的に捕獲しているといった現状になります。鹿の捕獲頭数につきましては、ちょっと後ほど申し上げますが、鹿につきましては、やはり実際に捕獲に当たる捕獲班員の方からは、数年前に比べたら減ってきているという実感があると。捕りにくくなっているとおっしゃってます。山の中に入って、例えば銃で巻き狩り猟とかするんですけど、そのときも、例えば一回、勢子が追って追って追って、じゃあ、待ちに待っている人が結構な確率で撃てたらしいんですけど、最近はなかなか、勢子が追って、待ちで待っていても、本当数頭程度しか逃げてこないといったようなことで、ただ、数頭程度残っているものがやっぱり農産物ですとか、里のほうに出てきて悪さするというのがありますので、捕獲班の班長と話をしておりますが、やっぱりそういった最後の1頭になるまでになるんですかね、ゼロ頭になるまで、そういう被害がもう本当少なくなるまでは、これからもやっぱり頑張っていかなあかんという話はしております。

それと、ちょっと実績、すみません。

○分科会長（森垣 康平） どうぞ。

○農林水産課参事（西村 文紀） 鹿の捕獲頭数について報告させていただきます。

今年度1月末までの鹿の有害捕獲は3,895頭になっております。これから年度末まで、あと二月の分の頭数で、大体、最終的には4,200頭ぐらいの鹿が捕獲できるんじゃないかというふうに見込んでおります。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ありがとうございます。

鹿、実際に少なくなっているというような話は聞く

ということもお聞きしとるんですけど、やはりそうでないところもありますし、捕獲しにくい、特に谷が深いところは難しいという話も聞いてますので、そこらに逃げ込むいうのもお聞きしておりますので、その辺のをどうやって捕るかということもまた検討していただきたいと思います。

そして、その捕獲した鹿の処理ですね、鹿肉のジビエとかペットフードとかされとるんですけど、今、3か所でしたですかね。奥山と森本と、もう1か所、どこでしたかね。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） もう1か所、日高の八代になります。

○委員（西田 真） 八代。

○農林水産課長（浪華 誠） はい。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） その処理は、実際に処理業者が取りに行つて処理をするということですけど、実際どれぐらいの処理ができとるんか、どうでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 今考えておりますのが、有害鳥獣捕獲班と、その処理事業者、それぞれに取りに行つていただいてという形で、委託契約で考えておまして、すみません、今、それぞれの処理施設がどれだけの毎日処理をしているかは、ちょっとすみません、認識してないんですけど、この事業では年間1,000頭を目標に処理をしていただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） なかなか取りに行く、そういう地形もありますんで、大変だと思いますけど、なるべく処理をして、ジビエとかペットフードとか、そういうのに、せつかく生きとったもんを殺すんですから、そういう格好で再利用といいますか、そういう格好でしていただきたいと思います。

そして、学校給食のほうで、つきあかりなんですけど、全量展開を2027年度にしたいということでありまして。来年度は10アールに2万円の補助と

ということもお聞きしておりますけど、全量展開しようと思ったら、どれぐらいの面積が要るのか、ちょっと教えていただければと思います。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 全量転換に必要な量なんですけど、玄米ベースで90トンが必要になっておりまして、今の予定なんですけども、来年度で22ヘクタールで、つきあかりを栽培していただくというようなことになっておりまして、大体、これ、目標なんですけど、反収で7俵ほど取れば、目標が達成できると思っております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） なかなか草の問題がすごく大変ですんで、その辺は、就農者はよう分かっとられると思いますけど、収量が7俵ちゅうのは、なかなか厳しいのと、その地形にもよるんですけどね。その辺を一生懸命頑張っていただければと思っております。

それから、バッファゾーンの関係なんですけど、2,500万円と予算計上なんですけど、去年はどれぐらい実績があったんでしょうか。そして、来年度、100万円、今年度と同じような格好で補助金を出されるかどうか、その辺も確認させてください。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 今年度の実績なんですけども、19地区で8.4ヘクタールのバッファゾーン整備になります。ちなみに、そのもう1年前が6地区の3.9ヘクでしたので、大分、今年度、要望件数、実施面積とも伸びております。新年度も引き続き1ヘクタールで100万円という補助金は変えずにやっていきたいと思っております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） いろんな地区で、うちの地区も含めてですけど、非常にこれは地区としてはありがたい事業だと思っておりますし、いろんな地区で手を挙げておられると思いますんで、またいっぱいになるかも分かりませんが、補正とか、その辺も考えてやっていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

そして、危険木の伐採は、県の10分の10という話があったんですけど、説明で。それ、どんな感じですかね。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○委員（西田 真） 森林整備の件。

○農林水産課長（浪華 誠） 先ほど申し上げた住民参加型森林整備事業というのが、これは県の県民緑税を活用した事業になるんですけど、こちらについては、10分の10で、地元がボランティアでやっていただく。ただ、ボランティアでやっていただくんですけど、結構太い木ですとか、大きい木というのは危険がありますので、その分については、その県の10分の10を使って危険木が伐採できるというものになります。それと、すみません、もう1個、違うのが、森林環境整備事業補助金というのがあります。そちらにつきましては、補助率が3分の2になります。ちょっとすみません、県の事業を使うものと、市単独事業で補助率が違いますけど、それらを併せて危険木の伐採もやっていきたいと思ってます。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 今、県のやつをお聞きしたんですけど、市の危険木のやつは毎年されとる分です。確認です。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） そうです、毎年継続的に行っている事業になります。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） もう1点お願いします。

環境のほうなんですけど、産業用地の選定作業に448万円出とるんですけど、これ、この448万円、産業用地、今、工業団地のほうで空いてるところがあったり、そして、まだ空いてる、上のほうです。その辺も建物が建っていないところも実際にあるんですけど、その辺はずっと空きっ放しでいいんかどうかちゅうのを確認させてください。一応、何年までに建物を建てなければならないというような感じでされたと思うんですけど、現状、空いて

るところはいっぱいありますんで、その辺のことを教えていただければと思います。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

まず、事業者さんと企業さんとは、土地売買契約の締結も済んでおりまして、土地を取得されて建物が建つ状態です。空いてる区画はありますけども、それぞれで、例えば会社の都合で増改築ですとか、新增築といった計画があるのは、うちのほうも企業訪問を担当がしておりますので、伺いながら、また、企業の経営によっては、売却をされるというようなことも漏れ聞いております。そこにつきましては、逐次新しい情報を入れさせていただいて、交付金を使って、労働力と、また、経済の波及効果も大きい施設になりますので、しっかりと現状把握と、より早く建築を進めていただくようなことの情報共有、情報提供ということで進めさせていただいているのが現状です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 先ほど質問させていただきましたが、購入されてから何年以内に建てなければならないという契約の事項に入ってますか。ずっと空きっ放しの区画もありますんでね。その辺はどうなんでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

すみません、今手元に持っておりませんのと、売却から、相当な期間がたってますので、改めましてご説明させていただきたいと思います。ご了承ください。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 今言われるように、もうずっと空き地の区画がありますんで、それはいかなもんなかとは私は思ってまして、そして、建つとっても、もう廃業されたりしてるところもあるんです。よくご存じだと思いますけど、それを新たに購入されとって、仕事もされとったらいいんですけど、そういうところもちゃんと情報収集されて、せっかくの区画ですんで、運用をしっかりとやっていただきたい

うのと、空き地は早く、もう建てなければ、ほかのところに売ってもらうとか、市が買い戻して産業用地にするとか、そういうことも検討しなければならないと思っております。空き地のままずっと置いとくちゅうのは、非常にまずいかなと思っておりますんで、特に豊岡市は産業用地の不足をしておりますんで、その辺も含めて、ちょっと答弁をお願いします。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

委員おっしゃるとおりだと思います。しっかりと、先ほど申しました情報収集と、今後の計画につきましても、企業の皆さんもご都合がございますので、しっかり適正に情報把握と管理に努めたいと思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） その辺、しっかり、くどいようですが、空き地の分、それはしっかりちょっと把握させていただいて、適正に、その空いとる区画がなくなるようにやっていただきたいと思ひますし、先ほど言われましたように、契約の事項に多分入ったと思うんですけど、購入してから、それも確認してもらって、また委員長のほうに報告していただければと思いますんで、よろしく願ひします。

最後、もう1点、ふるさと納税の関係なんですけど、17億円で、半分の8.5億円、5割が返礼品とか事務費のことになるんですけど、これはもうちょっと多くてもよかったかなと思ったりしてますけど、その辺はいかがでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

ふるさと納税につきましては、国のほうも制度の改正等を年々されており、極端な改正といいますのは、しっかりと情報を共有していかないと駄目だと思ひてます。私、財政に予算要求するときにも、今回17億円ということで、新年度予算につきましては、先ほど委員もおっしゃった17億円の半分の8億5,000万円の積立てという予算を組みました。前年度の当初予算では15億円で組ませていただいて、一生懸命、担当もPR、市長を筆頭に、して

いただいて、決算19億円前後でくれないかなという状態に今あります。しかしながら、国のほうでも、また制度でちょっと縛りがあるような方法が出てきてますのと、やはり寄附をしていただく一番の先になりますECサイト、ネットを中心とした商品ということで、やはり本来の趣旨であります豊岡市を応援するという趣旨に合わせて、その商品でふるさと納税を選定されているという実態もありますので、実は今日、明日と、ふるさと納税のECサイトの事業者さん来ていただきまして、市内事業者さんに、いかに売れる商品を作る、見せる見せ方も重要であるという勉強会もしていただいています。しっかりと、予算要求した額以上の寄附がいただけるように、全力で取り組みたいと思っています。辛めでは見ているつもりではありますけども、頑張りたいと思っています。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ぜひ頑張ってください、地元の産品を結局返礼品に使うわけですから、地元の企業も潤うということがありますんで、地元の企業のためにも、地域住民の方も含めてですけど、一生懸命頑張ってくださいたいと思っていますので、よろしく願いいたします。委員長、以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ございませんか。

西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） すみません、先ほど出ました鹿の駆除のことなんですけども、4,200頭ほど捕れるうち、処理ができるのは1,000頭ほどというふうにお答えいただいたんですけども、残りの、そしたら、3,200頭はどうされてるんか、教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 現状は、捕獲した鹿につきましては、適切な処理をお願いするということで、埋めていただくですとか、今の鹿肉の処理施設に直接持ち込んでおられる方もいらっしゃいます。1,000頭を目標に、来年度、300万円の委託料でやりたいと思ってるんですが、これも、新

年度、新たな取組になりますので、少し実証的な取組になると思ってます。取組を進めるに当たって、いろんな課題ですとか、意見ですとか、逆に処理事業者の方ともいろんなヒアリングもさせていただいたりですとか、いろんな問題も出てくると思いますので、来年度、こういったものをいろいろと整理させていただいて、ブラッシュアップして、令和9年度以降によりよい形でつなげていきたいなというふうには思っております。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） その場で埋めると今言われたんですけど、現実問題、山の中で捕れた鹿を埋めるということは不可能というか、軽くは土かけれるんですけど、結局はそれが熊の餌になってるというのが現実でして、私らの地域でもちょっとそれを気にしとられて、福知山のほうに視察に行かれて、福知山のほうで焼却処分をする施設を、福知山と綾部市と舞鶴市、ちょっと忘れちゃったけど、造つとられるんですけど、4,000頭ほど焼却処分されとるようで、ただ、それに燃料代だけで7,000万円、年間、かかるか何かだったと思うんです。そんなんで、ちょっとそれもどうかと思うんですけども、ただ、今の状態で山に放置するようなのは、やっぱりそういう熊の被害も出てる中で、結構、熊が肉食化するとかいうようなことも言われたりして、危険だということも言われとるんですけど、何かその辺の、今後、対策を考えとられることがあるんでしょうか、お伺いします。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 委員おっしゃったように、例えばそういう処理施設みたいなやつを公設で設営するとなると、すごいコストがかかりますし、ランニングコストもかかると聞いておりますので、幸い、市内には、先ほど申し上げた3か所の処理施設がございますので、実際その3か所でどれだけ、年間対応できるかということもちょうと来年度いろいろと検討は一緒にさせていただきたいと思っています。できれば、その3施設を利用して、そこに2,000頭なり、3,000頭なり、持ち

込んでいただけるというようなことであれば、そういったスキームの中で、今のこの鹿肉利活用検討を進めさせてもらって、そっちで処理を進めることができればなとは思っております。なんで、それも含めまして、ちょっと来年度いろいろと検討させていただきたいと思っておりますが、やはり公設でやるというところは、コスト面考えても、現状ではちょっと難しいかなと思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） さっき、1,000頭で300万円の予算ということは、1頭に3万円の補助金を今出しとられる。ちゃうわ、3,000円か。（「3,000円、3,000円」と呼ぶ者あり）そんなもんでしたっけ。鹿処理はもっと費用出てるんじゃないかなかったですか、すみません。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 現在、捕獲報奨金としまして、例えば鹿の場合ですと、処理費を含んで、わなの場合1万2,000円を報奨金として出しております。今回、それとは別に、捕獲班の方に取りいただく、処理事業者の方に取りいただくという、そういうコストを考えまして、1頭3,000円だと想定は今しとるんですけど、それにつきましても、今、引取りに行ってもらったら3,000円となるんですけど、多分、進めていくに当たって、じゃあ、持ち込んだときどうなのとか、いろんなことが出てきようかと思しますので、その辺をちょっと1年かけて整理させていただきたいと思っております。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） ありがとうございます。いろいろと現場というか、現地でいろんな問題が、まだ残っておりますので、その辺をしっかりとまた検討していただけたらと思います。ありがとうございます。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ございませんか。

○委員（西垣 秀昭） もう一ついいですか。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） すみません、先ほどふるさと寄附金のことでもちょっとお伺いしたいんですけども、17億円ほどの予算で組んでおられるんですけど、それで、結局、経費云々を使って、どれだけが残るのでしょうか、いろいろな経費を差し引いて。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

まず、ルールとして、2分の1ルールというのが大前提でありますので、仮に10億円寄附をいただいたら、5億円を市に積立てをさせていただいて、残り、その5億円の中でECサイトの手数料ですとか、返礼品の購入ですとか、送付ですとか、そういった事務経費にかけるということですので、お答えでいくと、半分か実入りになる。さらには、実際の市内のものを購入しますので、そこもたくさん市内への潤いはあるというような形のものになります。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） それは分かったんですけど、なら、実際にふるさと納税は、豊岡市民もよその景品がよければ、よそにふるさと納税されるわけですね。その分というのは、豊岡市に落ちる税金が減るという部分も同時に生まれるんですけど、それはどのぐらいを見込んどられるんでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

これは、当然のことです。そちらのほうの試算につきましてもは税務課が所管されますので、当課では、把握しておりません。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） 分かりました。ありがとうございます。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） すみません、私のほうから1点。随分前から自伐型林業ということで、いろいろと問いかけをしてきて、ようやく何か形としては、徐々に徐々に進んできているのかなというふうに思うんですけども、現状としては、今どんな感じでしょうか。その自伐型林業に向かう方というのが少しでも増えてきているのかどうかも併せてちょっとお

聞きしたいです。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 少しずつですが、増えていると思っています。というのが、昨年度、初めて自伐型林業のフォーラムを開催させてもらって、その後に自伐型林業体験研修というのもさせていただいて、それ、すみません、約15名ぐらいだったと思うんですけど、参加をしていただきました。その中から、実際、新年度に入ってから、産業道をつけて森林整備をやりたいと、向かいたいといった方も5名程度いらっしゃると思います。そういった方々のために、今回初めて、自伐型林業推進事業補助金ということで、産業道を開設したりですとか、あと、除間伐をやったときに、市の森林環境譲与税を使って補助金で支援するといったような制度も今回準備しましたので、市としましては、森林・林業ビジョンをつくったのが2022年度です。10年間の2032年度を目標に、30名ぐらいの自伐型林家を育てたいというふうに、目標として思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 自伐型林業、いわゆる林業者が増えることで、これは森林環境譲与税のプラスの項目になりますから、特に人数がそんなに大幅に増えるというものではないんで、一人一人、密にしっかりとケアしていただきたいなと思います。

それと、やっぱり林業が労務災害では一番、死亡事故が多いというものにもなりますから、くれぐれも安全対策というのはしっかりお願いしたいなと思います。

あと、住民参加型の森林整備ということで、これはお話、先ほどほかの委員が質問してる中では、どちらかというと区なんかでの作業、日役なんかで使えるのかなというふうに思いました。そういう意味では、各地区なんか、今から日役、うちの地区は終わったんですけども、彼岸日役とか、そういうのはしていく中で、上手にアナウンスをして、しっかりと取組をしてもらえるようなことを考えたらと思うんですけども、いかがでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 浪華課長。

○農林水産課長（浪華 誠） 県の制度ですので、できるだけうまくPRさせていただいて、使っていただきたいと思います。ただ、これ、一応条件としましては、3年間で2ヘクタール程度の森林整備を地域で行うというのが条件になっておりまして、そういう3年間の計画を出していただいて、それを県が認定をしたときに、例えば1年間で、1年目だけで270万円の定額補助がいただけるというような、そういう仕組みになっておりますので、計画がつけられるような森林整備を予定されている地域につきましては、積極的にPRして活用していただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 逆に、里山防災林などの制度で、それは地区で管理をしていかないといけないというようなことがあるんですけども、そういったのと、制度的に組み合わせるといえるのか、それをするということは可能なんですか。

○分科会長（森垣 康平） 西村参事。

○農林水産課参事（西村 文紀） 里山防災林整備事業も県民緑税を活用した事業になります。今回のこの住民参加型森林整備についても、同じく県民緑税を使った事業になりますので、これを併せて実施をするということは、基本的には今できないという状況になってます。ですので、いろんな地域で活動する、また、地域が望んでいる森林整備について、一番マッチするかなと思うものが当てはまれば、またそれは丁寧に説明をしていきたいというふうに思います。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 各地区のほうで、選択肢ができていて、できていますよということで、アナウンスをしっかりやっていただけたらと思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ありませんか。
西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） すみません、農林水産課のほうに、ゴム堰のことでお伺いしたいんですけども、

但東町で7か所、ゴム堰があるということですけど、今もう使用不能になっとるんは何か所あるんですか。

○分科会長（森垣 康平） 村田参事。

○農林水産課参事（村田 光弘） 今使えなくなっているのは、今、1つの堰は完全に使えなくなってます。ほかは、一応動かしたら動く状態ではあるんですけども、空気が抜けたりとか、そういったちょっと問題が起きてるところは多々あります。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） どっこも、7か所ともほぼ造られたのは同時期頃ですんで、どことももう難しいんですけど、それは3, 500万円の予算つけとられたんですけど、同じような改修をされるということですか。どういうふうなことを考えとられるんでしょうか、お伺いします。

○分科会長（森垣 康平） 村田参事。

○農林水産課参事（村田 光弘） 一つ一つを直すのではなくて、例えば2つを一つにできないとか、一番いいのが7つを一つにできないとかという部分がありまして、どうしても事業的には、地元負担というのが伴いますので、そこら辺を何とか、実際造るのも多額のお金がかかりますので、そこら辺を何とか統廃合でもしながら堰をできないかということら辺をちょっと考えていきたいなという形に思ってます。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） 地元負担って、負担率とかはどのぐらいになるんでしょうか、教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 村田参事。

○農林水産課参事（村田 光弘） 少しどういう形にするかによりまして、ちょっと負担の率が変わってくるんです。でも、一応、恐らくですけど、10%ぐらいは地元負担が要るのかなというふうには考えてます。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） 10%いうても、金額が相当な額なんで、なかなか地元も今、高齢化して、農地のほうも難しくなっとるんで、そうやすやすとはで

きないことだと思うんで、この辺は、農地の問題とかと併せて、本当にその堰が必要なのか、もうちょっとほかの用水を取ってくる方法はないんかとか、いろいろと考えていただいて、ただ、農業スクールのほうの話じゃないですけど、新規就農者なんかもだんだんと出てこられる中で、やっぱり水利がないと農地も死んでしまいますんで、その辺をしっかりと考えて造っていただきたいんですけども、但東以外では、そういうところは、今、豊岡市内で堰の問題は起きてないんですか。

○分科会長（森垣 康平） 村田参事。

○農林水産課参事（村田 光弘） ゴム堰が、一応、豊岡市の中で18ありまして、やはりゴム堰を造ってる年代が結構、大きな災害があったときに災害復旧で造られとるという部分がありまして、どの堰にしましても、大体やっぱり経過年数が同じような形になってます。ただ、いろいろ補修をしながらとか、やっぱり地元さんがこれだけかけてもしょうやというところら辺で、維持管理をされとうところもありますので、ほかのところでは、どうしても今直したいというお話はまだ聞いてない部分ではあります。

○分科会長（森垣 康平） 西垣委員。

○委員（西垣 秀昭） 分かりました。ありがとうございます。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、ありませんか。
瀬崎次長。

○コウノトリ共生部次長兼環境経済課長（瀬崎 晃久）

先ほど西田委員のほうからご質問いただきまして、工業団地の建築条件につきましてお答えが出来ず申し訳ありませんでしたが、分かりましたので、お答えします。

まず、この神美の工業団地の売主ですけども、地域振興整備公団が売主になります。そちらと、買われた企業さんとの売買契約書を確認いただきまして、10年以内におおむね工場の建設をすることということで契約書のほうに明記がありますので、お答えとしては、10年以内ということで、契約時に公団と事業者様との間で契約書が取り交わされとるという状態になります。繰り返しになりますが、

先ほども委員のほうからありましたし、私も同感でして、しっかりと空き地、こういったものにつままして、企業様の今後のご予定ですとか、こういったようなことも、この契約の内容にということではなくて、情報収集とPR、推進に努めてまいりたいというふうに考えております。以上です。

○委員（西田 真） ぜひよろしくお願いします。

○分科会長（森垣 康平） それでは、質疑を打ち切ります。

次に、都市整備部の説明をお願いいたします。

建設課、久田次長。

○都市整備部次長兼建設課長（久田 渉） それでは、まず、ページを報告させていただいてますが、さらに省略させてもらってもよろしいでしょうか。建設課のほうです。

歳出から行います。

143ページを省略させていただきまして、235ページのほうからお願いしたいと思います。中ほど、少し下の事業になります。急傾斜地の崩壊対策事業費1億4,380万円のうち、負担金の1億4,280万円につつましては、兵庫県に事業実施していただく急傾斜地崩壊対策工事に対する令和8年度分の地元と本市の負担金となっております。次の還付金100万円につつましては、この事業の完了に伴います受益者分担金を精算し、地元へ還付するものです。

それから、その5つほど下に、城崎温泉街の交通環境改善事業費107万3,000円の主な支出は、この引き続きの協議会で交通環境改善に取り組むため、本協議会の構成メンバーでもある学識経験者の方の報償費、費用弁償等を77万5,000円を計上するものでございます。

それから、次の用地対策事業費の304万円の主な支出は、用地交渉に必要な、その2行下の普通旅費、それから、237ページに移りますが、業務委託料250万円につつましては、未登記箇所の測量業務に要する委託料となっております。

次の但馬空港周辺用地管理費220万1,000円の主な支出は、維持管理委託料の178万円で、

空港周辺の巡視等、これは地元をお願いする県からの補助金による委託料となっております。

それから、次の枠の中ほどになります。排水機樋門管理費の5,830万7,000円のうち、建設課の主な支出は、下から2行目の補修工事費の3,900万円、長寿命化計画に伴い、下鶴井の排水ポンプの自家発電装置の更新工事を行うものです。

それから、一番下の事業になります。緊急処理事業費の234万円は、道路や河川、緊急修繕費や倒木処理、それから、次の239ページになりますが、排水ポンプの機械の借り上げ料などに要する費用となっております。

それから、下の枠の次の事業になります。道路橋りょう総務費の1,337万1,000円のうち、建設課分は1,332万4,000円、このうちの主な支出は、968万円、道路台帳の更新を行うものです。また、負担金の145万8,000円は、道路協会をはじめ、各同盟会や協議会への負担金、それから、その以下の道路の4団体へも45万円の補助金を交付しております。

それから、241ページの次の事業になります。道路橋りょう管理費511万7,000円のうち、建設課分は421万円、こちらにつつましては、燃料、修繕費、保険料などに要する費用となっております。

それから、次の事業、道路維持事業費2億6,197万6,000円の主な支出は、修繕料1,371万4,000円で、道路施設の修繕料、また、その下の保険料171万1,000円は、道路の損害賠償保険となっております。それから、その2行ぐらい下になります。維持管理委託料3,674万5,000円は、市内に設置しているポンプやスクリーンの清掃業務など、浸水対策ポンプのポンプ管理や剪定業務等の植栽管理、また、パーキングトイレや市道や堤防の草刈り業務に係る清掃管理の費用を計上してございます。それから、次の投資委託料1,700万円は、道路ののり面や構造物、附属物点検などに係る委託料となっており、次の業務委託料334万2,000円は、動物の死体処理業務

と簡易な測量業務となっております。それから、その下の補修工事費１億６，２２０万円につきましては、２件の補修工事と２件の側溝の修繕工事、それから、９件の舗装修繕工事など、政策的予算に加えて、突発的な修繕工事にも対応できるよう枠配分予算も含まれております。また、次の修繕材料費の３３６万円及び舗装材料費３５３万５，０００円に加え、事業用備品の４９４万４，０００円は、直営施行に必要な材料費並びに施工機械の更新となっております。

それから、次の２４３ページになります。市の単独事業費３，５００万円につきましては、加陽の池端線並びに上郷野山線の道路新設改良工事の金額となっております。

それから、また次の事業、上山二見線の道路改良事業には２，１００万円を整備工事費として計上し、高龍寺本線には３，１００万円を計上しており、内訳は、整備工事費２，２００万円と土地の購入費９００万円となっております。

それから、次の事業、雪害対策事業費４億９８６万６，０００円の主な支出は、その９行あたり、９行ぐらい下になります。保守点検料の２，３００万円で、市内に設置している消雪装置の点検業務の委託料となります。

またその次の業務委託料２億３，４４０万円につきましては、除雪の対策支援業務と、９８件の除雪業務となっております。

それから、その４行下の補修工事費５，８９０万円は、ポンプやノズルなどの消雪装置５件の更新工事となっており、次、事業用備品２，０４５万円につきましては、２台の除雪車両の更新費用となっております。

最後に、１，５００万円の補助金の内訳につきましては、除雪機の購入事業費が１，１００万円と、昨年度からの取組となります除雪機械運転資格取得事業費として４００万円を計上するものです。

次の事業、橋りょう維持事業費３７３万９，０００円の主な支出は、修繕料と補修工事費となっております。

それから、次の事業、橋りょう長寿命化事業費の３億６，８５０万円の主な支出は、投資委託料の１億８００万円で、橋梁補修２件と定期点検に加えて、資材単価の調査業務に係る委託料となっており、補修工事費の２億５，７５０万円は、全部で９橋の長寿命化に係る工事請負費となっております。

それから、次、２４５ページです。栃江橋の整備事業費５，７６６万６，０００円は、旧橋撤去に係る国への工事委託料と物件の補償金となっております。

また、次の上野橋整備事業費１億７，８２５万６，０００円につきましても、土地の借り上げ料と整備工事費１億７，８００万円を計上しております。

それから、次の事業、交通安全施設整備事業２，０４８万６，０００円の主な支出は、整備工事費の１，６１２万６，０００円、例年のことです、防護柵や区画線などに係る補修費と、補修材料費２９６万円を計上しております。

それから、次の生活道路排水路整備事業４５０万円は、里道水路整備など、市民の生活に係る生活環境の改善を目的とした修繕料となっております。

それから、下の枠の次の事業、河川総務費の６９０万９，０００円のうち、建設課は３７０万円程度で、その下にある維持管理委託料、河川公園管理４９５万８，０００円のうち、出石の谷山川河川公園の草刈り工事１９０万円が主な支出となっております。

それから、次の事業です。河川改良事業費４，０００万円の主な支出は、しゅんせつ工事の３，６５０万円で、下陰の前川を含む３河川のしゅんせつ工事を予定をしております。

また、例年のことではありますが、普通河川の浚渫事業費として３５０万円の補助金も計上しております。

次の事業、普通河川整備事業費の４，０５０万円は、普通河川の整備工事費として５つの河川の護岸整備に係る費用を予算計上しております。

それから、下の枠の港湾管理費の２１０万円は、維持管理委託料で、瀬戸水門の管理のお金となっております。

おります。

それから、最後になります。次の事業、海岸環境整備事業費1,167万3,000円の主な支出は、業務委託料400万円で、海岸漂着物の処分業務に充てるもの、また、次の事業委託料716万5,000円につきましては、気比や竹野海岸の環境整備と、竹野海岸の緑地管理に係る委託料となっております。

次に、歳入に移ります。

27ページをご覧ください。説明欄の上から3つ目の枠です。土木管理費分担金、急傾斜地崩壊対策事業費分担金1,060万円は、県の急傾斜地崩壊対策工事に係る地元からの分担金となります。

それから、31ページと33ページを省略をさせていただいて、39ページをご覧ください。説明欄、一番下となります、道路橋りょう費補助金の社会資本整備総合交付金、道路改良事業費2,625万円は、歳出のとおり、上山二見線、高龍寺本線の道路改良工事に係る国庫補助金です。

それから、次の防災・安全交付金の雪害対策事業費4,550万円につきましては、除雪機2台の購入と除雪業務の委託料に係る国庫補助金になります。

それから、次の道路メンテナンス事業費補助金3億703万4,000円の内訳は、道路維持事業費に577万5,000円は、赤崎江原線ほかの法定点検に係る委託料となります。橋りょう新設改良費1億3,494万2,000円は、栃江橋と上野橋の整備工事費に係る国庫補助金と、橋りょう長寿命化事業1億6,631万7,000円は、橋梁補修設計及び工事費と定期点検の委託料に係る国庫補助金となっております。

それから、次に、43ページです。説明欄2つ目の枠の一番下、土木管理費委託金の排水機樋門等管理委託金3,183万2,000円は、六方排水機場に263万8,000円と、桃島樋門ほか10の樋門2,919万4,000円のともに樋門管理に係る国からの委託金です。

また、公共用地取得事務委託金162万3,00

0円は、北近畿豊岡自動車の用地取得に係る事務委託金となっております。

45ページを省略させていただいて、57ページをお願いします。上から6つほど下になりますけど、土木管理費委託金の公共用地取得事務委託金390万6,000円は、上陰の国道426号の道路改良工事の用地取得に係る県からの事務委託金となっております。

また、次の排水機樋門等管理委託金188万5,000円は、日撫水門と六方排水機場の管理委託金となります。

次の道路橋りょう委託金、国県歩道除雪作業委託金420万4,000円は、県管理の歩道除雪に係る委託金です。

次の、また、国道のパーキングエリア管理委託金250万6,500円は、県管理の4つのパーキングエリアの清掃等に係る委託金。

それから、次の除雪機の運転資格取得事務委託金200万円は、オペレーター確保を目的とした除雪機械の免許取得に係る県からの委託金となっております。

それから、次、59ページをご覧ください。下の枠の土地売払収入5,620万円のうち、建設課分は30万円で、里道水路などの土地売却の収入となっております。

次に、67ページを省略させていただいて、71ページ、雑入になります。説明欄の上から17、18行目ぐらいになりますが、消雪ポンプの26万4,000円と市道の駅東西連絡線に係る4万6,000円は、主に県などからの使用者負担金となっております。

それから、次に、77ページをご覧ください。説明欄3つ目の土木管理債、市債になります。急傾斜地崩壊対策事業債1億2,020万円は、県が実施した急傾斜地の崩壊対策工事に係る市の負担金に充当した市債となっております。

次の土木管理事業債3,510万円は、下鶴井の排水ポンプの更新費に充てる市債、それから、次の道路橋りょう債、道路整備事業債1億3,700万

円は、道路構造物長寿命化事業以下、明記をしております全7事業の整備に充てる市債です。

それから、次の起債、橋りょう整備事業債2億3,800万円は、栃江橋、上野橋と橋りょう長寿命化事業に充てる市債となります。

次の消雪装置整備事業債5,890万円は、消雪装置の更新工事に充てる市債、それから、最後に、河川債の河川改良事業債7,600万円のうち、河川浚渫事業の3,550万円は、先ほど言いました下陰を含む3つの河川のしゅんせつ工事に充てる市債、また、普通河川整備事業債4,050万円は、水主川を含む全5つの普通河川の流路工整備や河川修繕工事に充てる市債です。

歳入の説明を終わって、最後に、地方債になります。11ページをご覧ください。

上から5行目になります。記載をしてありますが、まず最初に、急傾斜地崩壊対策事業には1億2,020万円、次の土木管理事業費には下鶴井ポンプに3,510万円、次の道路整備事業費1億3,760万円は道路構造物長寿命化事業、以下6つの事業への起債となります。次の橋りょう整備事業費2億3,800万円は、栃江橋以下2つの事業の市債、次の消雪装置の整備事業には5,890万円、河川改良事業費には7,600万円となっており、詳細は先ほど歳入で説明をしましたとおり、いずれも限度額を記載してございます。

建設課からの説明を終わります。

○分科会長（森垣 康平） お疲れさまでした。

続きまして、都市整備課、堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 都市整備課所管の主要事業、新規事業を中心に、まず歳出から説明させていただきます。

予算書の93ページの説明欄をご覧ください。上から10行目、基金管理費10億4,519万円のうち、都市整備課分として520万円を計上しています。内訳としまして、次の財政調整基金積立金の360万円ですが、これは高校生通学バス定期補助の事業継続に係る財政調整基金への積立てです。また、その2行下、市債管理基金積立金の385万円

のうち、都市整備課分としましては160万円です。これは過疎地域内の高校生バス定期補助事業の過疎債償還に係る一般財源の積立てです。

次に、99ページをご覧ください。真ん中辺りの鉄道交通対策事業費に1億5,740万6,000円を計上しています。主なものでは、まず、5行下の業務委託料の690万3,000円で、従来の竹野駅乗車券類等販売業務に加えて、昨年度に引き続き、JR山陰本線利用促進事業実施業務を実施します。令和8年度は、乗って守ろう！竹野駅ペイに加えて、電動折り畳み自転車による周遊サイクルトレインを実施する予定にしています。それから、9行下の補助金の1億4,955万5,000円ですが、内訳としまして、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費1億2,707万9,000円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施する線路等設備の改良事業に対して、沿線自治体が支援する豊岡市分の補助金です。次の北近畿タンゴ鉄道安全運行維持助成費2,247万6,000円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社がWILLER TRAINS株式会社に委託している路線の運行に係る線路、車両の維持管理に対して沿線自治体が支援する豊岡市分の補助金です。

次の事業、バス交通対策事業費には3億1,327万1,000円を計上しています。主なものでは、101ページの2行目、業務委託料の5,073万7,000円で、内訳は、バス運行管理業務の市営バス「イナカー」3路線の有償旅客運送運行管理業務委託料です。次の事業委託料の397万9,000円は、公共交通支援事業で、出石、但東地域で実施しているチクタクの運行業務を4地区の運営協議会へ委託するものです。その4行下、補助金2億5,034万8,000円の内訳ですが、地方バス等公共交通維持確保対策費の1億9,420万2,000円は、全但バス株式会社が運営する路線バスの運行補助金と車両購入の補助金の合計額です。次の市街地循環バス事業費の1,997万9,000円は、全但バス株式会社が運行しているコバスの運行事業補助金です。次の高校生通学定期券購入費の

2, 549万3, 000円は、市内の高校生が通学のために定期券を購入する際、月額1万5, 000円を超える部分を市が支援する補助金です。次の予約型乗合交通維持対策費の1, 067万4, 000円は、竹野地域予約型乗合交通「たけの〜」に係る運行経費の一部と、「たけの〜」の乗降ポイント標識の整備に係る費用を支援するものです。

次の事業、公共交通利用促進事業費に1, 081万3, 000円を計上しています。主なものでは、補助金のe通勤バス運行費の215万1, 000円は、コバスエクスプレスと豊岡出合線を対象とした通勤推奨バス運行に係る補助金です。1つ飛ばしまして、路線バス活性化運行事業費の771万2, 000円についてです。公共交通の利用促進として実施していた「豊岡ノーマイカーデー」と市制20周年事業として実施した「豊岡のってECO」を統合する形で、令和8年度は、「豊岡のってECO」として市内の路線バスやコミュニティバス等が大人500円で乗り放題となるフリーチケットを販売します。実施日は毎週金曜日とし、4月から1年を通じて実施する予定にしています。

次の事業、公共交通対策事業費に3, 692万9, 000円を計上しています。整備工事費2, 700万円は、日高振興局の敷地内にある旧テニスコートに高速バスのバスストップ並びにパーク・アンド・ライド駐車場の整備工事に要する費用です。

次の補助金992万9, 000円の地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業費は、JRと互換性のある交通系ICカードが利用できるキャッシュレス決済システム、「バスICOCAシステム」を、兵庫県交通政策課が事務局を担う「ひょうご新ICサービス整備協議会」と連携して、共通サーバーを整備し、車載機については、導入するバス事業者に対し、但馬3市2町で連携し、導入費の一部を支援するものです。

117ページをご覧ください。一番下の枠の但馬空港利用促進事業費に1億615万2, 000円計上しています。主なものでは、5行下の業務委託料900万円は、但馬空港あり方検討業務として、但

馬空港の活性化に向けた但馬空港及び周辺エリアの利活用に係る分析と在り方について検討を行うものです。次に、5行下、補助金のコウノトリ但馬空港利用促進協議会の7, 868万円は、コウノトリ但馬空港の利用促進のため、市民やビジネス利用などの運賃助成等を本協議会へ交付する補助金です。

少し飛びまして、249ページをご覧ください。真ん中辺りの都市計画総務費に3, 176万7, 000円を計上しています。主なものでは、下から7つ目の負担金の修繕工事費の2, 789万6, 000円は、アイティの受電設備更新工事に係る費用で、更新時期が到来した電気受電設備を更新するとともに、特別高圧設備から高圧設備に変更することで、更新費用及び維持管理費の低減を図るものです。

次に、3行下、都市景観形成事業費に642万6, 000円を計上しています。251ページをご覧ください。主なものでは、上から10行目、補助金の景観形成支援事業費558万円で、景観形成重点地区の修景助成に係る補助金です。

2つ事業を飛ばしまして、次の事業、駅前広場等管理費に562万7, 000円を計上しています。主なものでは、5行下の維持管理委託料の383万7, 000円で、豊岡駅や城崎温泉付近の駅前広場や公衆トイレ、地下連絡通路などの維持管理業務の委託料です。

次の事業、公園管理費に2, 567万2, 000円を計上しています。主なものでは、8行下の維持管理委託料の861万4, 000円で、内訳としまして、公園内の除草、清掃作業及び植木の剪定作業や市内の都市公園等のトイレの清掃等作業などの委託料です。次に、業務委託料の209万2, 000円は、出石城公園の植栽管理業務や、市内の都市公園などに設置されている遊具の定期点検経費を計上しています。

次の事業、公園施設長寿命化事業費に1, 580万1, 000円を計上しています。整備工事費の内訳は、出石城公園の照明施設更新工事とひまわり公園のメインステージの補修工事を行うものです。

次の事業、豊岡駐車場管理費に８３０万４，０００円を計上しています。２５３ページをご覧ください。主なものでは、維持管理委託料の７４４万円で、中央駐車場の維持管理委託料です。

以上で歳出予算の説明を終わります。

次に、歳入について、主立ったものを中心に説明させていただきます。

予算書の２９ページの説明欄をご覧ください。下段の枠内の節１総務管理使用料の上から５行目、有償旅客運送使用料６０３万７，０００円は、イナカーとチクタクの運賃収入の合計です。

次に、３１ページをご覧ください。上から４行目の節３都市計画使用料の駐車場使用料のうち、豊岡中央駐車場の１，０２６万円は、年間の中央駐車場の駐車場使用料です。

次に、３５ページをご覧ください。下の枠、節１総務管理費補助金の地域公共交通確保維持改善事業費補助金の９５６万４，０００円は、イナカー運行事業に対する国庫補助金です。

次に、３７ページをご覧ください。上から２行目、節１総務管理費補助金の社会資本整備総合交付金７，２９８万９，０００円の内訳として、地域公共交通再構築事業費の５，９８６万４，０００円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施する線路等施設の改良事業に対する国の交付金です。

次の道路改良事業費１，３１２万５，０００円は、日高振興局敷地内のバスストップ整備事業に係る国の交付金です。

次に、４３ページをご覧ください。一番下の枠の１行目、但馬空港周辺活性化事業費負担金３００万円は、但馬空港あり方検討業務に係る県の負担金です。

次に、４７ページをご覧ください。上から４行目の節１総務管理費補助金の地域公共交通再構築事業費補助金の１，６４６万３，０００円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施する線路等施設の改良事業に対して、兵庫県から支出される補助金です。

７５ページをご覧ください。２つ目の枠の節１総務管理債の１行目、鉄道交通対策事業債の京都丹後

鉄道軌道安全輸送設備等の６，７１０万円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施する線路等施設の改良事業に対する補助金を支出するための市債です。

７７ページをご覧ください。上から４つ目の枠の上から９行目、役場前線１，０６０万円は、先ほど歳出で説明しました日高振興局敷地内、旧テニスコートのバスストップ整備事業に充当する市債です。

次に、２つ下の枠、節５都市計画債の公園整備事業債、公園施設長寿命化事業１，４２０万円は、ひまわり公園のメインステージ補修工事に充当する市債です。

次の都市計画施設整備事業債、アイティの２，５１０万円は、アイティの受電設備更新工事に充当する市債です。

７９ページをご覧ください。一番下の過疎対策事業債６，０７０万円のうち、都市整備課分として２，０２０万円で、内容は、高校生通学定期購入補助金や、ＪＲ山陰本線利用促進事業及び竹野地区予約型乗合交通「たけのへる」に充当する市債です。

以上で歳入予算の説明を終わります。

次に、地方債です。

１０ページをご覧ください。第３表の地方債の１行目、鉄道交通対策事業費、京都丹後鉄道軌道安全輸送設備等の６，７１０万円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施する線路等施設の改良事業に対する地方債です。

１１ページをご覧ください。真ん中辺りの役場前線１，０６０万円は、バスストップ整備事業に対する地方債です。

９行下の公園整備事業費、公園施設長寿命化事業の１，４２０万円は、ひまわり公園のメインステージ補修工事に係る地方債です。

次の都市計画施設整備事業費、アイティの２，５１０万円は、アイティ受電設備更新工事に係る地方債です。

最後に、１２ページの一番下の過疎対策事業債の６，０７０万円のうち、都市整備課分としては２，０２０万円で、内容は、高校生通学定期購入補助金や、ＪＲ山陰本線利用促進事業及び竹野地区予約型

乗合交通「たけの〜」に係る地方債です。

都市整備課からの説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

建築住宅課、小川課長、お願いします。

○建築住宅課長（小川 琢郎） 建築住宅課分の説明をさせていただきます。

歳出の主なものになります。

95ページをご覧ください。財産管理費です。説明欄の10行目、業務委託料865万9,000円、このうち569万6,000円を但東町の出合市場住宅、この用途廃止に伴って、売却に向けての準備を行うための用地測量を実施いたします。その測量業務を計上しております。

253ページをご覧ください。住宅管理費です。説明欄です。人件費で委員報酬10万7,000円、これは空き家対策協議会委員の8人分の報酬になります。3回分を予定しております。これは、地域づくり課への所管替えを予定しております。

255ページをご覧ください。住宅管理費1億7,759万9,000円です。主なものとしましては、7行目、修繕料2,826万円、これは、市営住宅の退去修繕、風呂釜、給排水設備だとかのものの緊急的な修繕に係るものの経費です。その16行下になりますけれども、補修工事費1億3,531万9,000円、これは、ゼロ市債で行う市営住宅の補修工事、それから、退去修繕工事、子育て世帯の支援の関係のための修繕費、住宅設備改修費、それから、長寿命化工事を予定しておりまして、このうちの長寿命化工事につきましては、今年度、高屋住宅A棟の外壁等改修工事、それから、日高の静修住宅共用部のLED化工事、それから、日高の鶴岡住宅の外壁等改修工事を予定しております。

次に、その6行下です。住宅耐震改修促進事業費2,546万3,000円です。主なものとしまして、業務委託料のところ、157万5,000円、これは耐震診断の業務50件を予定しております。

その下、補助金のところですが、住宅耐震改修促進事業費2,380万円、これは耐震診断を行った結果、耐震性が低いと診断された場合に耐震化

する際の耐震計画策定費、工事費の一部を補助するものです。

その下、住宅新築資金等貸付金回収事業費18万4,000円は、この資金の滞納者に対する徴収の関係の経費です。

その6行下になります。老朽危険空家対策事業費833万7,000円です。下から3行目の補助金のところ。特定空家等除却支援事業費399万6,000円、これは国県の補助制度を活用して所有者が特定空家の除却をする際の補助、これを行うものです。3件分を見込んでおります。一番下の危険空家除却支援事業費399万6,000円、これは特定空家までいかない危険空き家の除却費補助金で、1件当たり33万3,000円の合計12件分予定しております。今回、例年より2件分増やしておりまして、この2件分は、一般に募集するのではなくて、交渉用というふうに考えております。これも所管替えの予定にしております。

265ページをご覧ください。説明欄3段目の10行目、災害対策事業費です。少し下に行きまして、補助金のところ、土砂災害対策支援事業費1,648万5,000円、これは土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーン内ですが、ここにある住宅の移転、除却、防護壁の設置、そういうものに対して、国と県と共に補助を行うものです。

歳出は以上になります。

歳入の主なものです。

29ページをご覧ください。下の表、総務管理使用料の説明欄、上から4行目になります。行政財産目的外使用料2,081万5,000円、このうちの561万5,000円が建築住宅課分で、お試し居住ですとか、大学生入居、子育て世帯等支援事業、この目的外使用に係る使用料の収入、それから、N T Tとか関電柱、そういったものの占用料の収入になります。

31ページをご覧ください。上の表の4段目、住宅使用料2億2,447万3,000円、このうち説明欄5行目記載の移住促進住宅使用料、これを除きまして、2億2,178万5,000円、これが

公営住宅の住宅使用料と駐車場の使用料になります。

41ページをご覧ください。一番上の土木費国庫補助金の住宅費補助金、社会資本整備総合交付金になります。5,099万9,000円です。内訳は、記載しておりますとおり、先ほど歳出で申し上げました簡易耐震診断推進業務、それから、公営住宅の関係の長寿命化工事、さらに、民間住宅の耐震化助成、老朽危険空き家の補助、これらに係る国の補助金です。

次に、その下、消防費国庫補助金ですけども、消防費補助金、社会資本総合整備交付金の崖地近接等危険住宅移転事業費497万3,000円です。これは、先ほどレッドゾーン内にある住宅の移転等の国の補助金になります。

55ページをご覧ください。説明欄の4段目、住宅費補助金194万3,000円です。内訳は、記載しておりますとおり、簡易耐震診断、民間住宅の耐震改修、老朽危険空き家の事業、住宅新築資金等の助成事業に係る県の補助金になります。

57ページをご覧ください。上の表、災害対策費補助金605万4,000円のうち、575万4,000円、これが住宅・建築物の土砂災害対策支援事業費補助金になります。

65ページをご覧ください。真ん中の表の一番下になります。住宅資金貸付金元利収入ということで46万8,000円、うちの44万7,000円は、説明欄記載の上3つの収入になります。

その他、雑入等につきましては、昨年とほぼ同様の内容ですので、省略させていただきます。

歳入は以上です。

債務負担行為、地方債はございません。

建築住宅課分は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 地籍調査課、上阪課長。

○地籍調査課長（上阪 善晴） 211ページをご覧ください。歳出です。

説明欄の下から12行目、地籍調査事業費です。1億2,606万9,000円を計上しております。主な費用は、次の213ページの業務委託料、地籍

調査業務で1億2,121万1,000円を計上しています。調査の概要ですけれども、地籍調査は、一つの調査区域を3年に分けて実施します。1年目は調査図素図作成や基準点設置の工程で、4区域、0.55平方キロメートル、2年目は立会い調査の工程で、5区域、0.65平方キロメートル、3年目は成果の閲覧の工程で、5区域、2.04平方キロメートルを予定しております。進捗率は、0.4ポイント増の15.0%となる見込みです。

次に、歳入です。

53ページをご覧ください。農業費補助金の説明欄、上から4つ目の補助金、地籍調査事業費補助金です。補助対象経費に対する県からの補助金1億451万3,000円を計上しております。

次に、73ページをご覧ください。説明欄の上から6つ目の見出しの事業協力金です。公共事業円滑化推進協力金として403万9,000円を計上しております。これは、山陰近畿自動車道のような大規模公共事業の用地取得に先行して地籍調査をする場合に、県から協力金として補助対象事業費の5%を頂く県の補助制度で、先行地籍調査事業といえます。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

暫時休憩します。

午後2時38分休憩

午後2時45分再開

○分科会長（森垣 康平） それでは、会議を再開いたします。

先ほどの都市整備部に関する質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点か、ちょっと確認です。

コウノトリの但馬空港の利用の分で、補助金の金額、今年度と来年度、金額を教えてください。変更があるかなんかも含めてよろしくお願いします。

○分科会長（森垣 康平） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 1人当たり4,50

0円としております。令和7年度も令和8年度も同様です。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） ありがとうございます。

あと1点、公園植樹伐採業務と遊具の点検業務なんですけど、これ、209万2,000円ですか、計上されておるんですけど、これの点検頻度、いろいろと公園のほうで樹木が倒れたりとか、道路付近で樹木が倒れたりとか、そういうことが、ほかの自治体ですけど、ありますんで、本市でもそういうことがあって、市民に被害があったら困りますんで、そういう点検頻度をちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○分科会長（森垣 康平） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 頻度を明確に決めているわけではないです。遊具については、年一度は、必ず点検するようにしているんですけども、樹木等については、定められたものもないので、決まった頻度で点検しているということは、現在はしていません。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 遊具のほうの点検は、もう年1回ということで、今お聞きしたんですけど、樹木のほうも、ほかの自治体でもいろいろと倒木があって被害があったとか、そういうのも聞きますんで、その辺は、どういう点検の仕方になるかも分かりませんが、せめて年1回ぐらいは点検していただいて、そういう市民の方々に被害が出ないように、車も含めて、いろんなもんも含めて、被害が出ないようによろしくお願いいたしますと思います。

委員長、取りあえず以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほか、質疑のある方。清水委員。

○委員（清水 寛） 都市整備のほうのバスの、先ほどバスICOCAというような表現で言われたんですけども、その辺って、どのぐらい整備のめどを考えておられますか。

○分科会長（森垣 康平） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 令和8年度中に整備

したいというふうに考えております。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 県のほうで、全県のバス事業者の方でサーバーを立てて、それでバスのほうから始めて、今後、JRのほうもやってもらうというような話はちらっとお聞きしたんですけども、そういう意味では、市のほうの予算というのは、分担金というか、それぞれの割ったような金額なのか、これは豊岡市独自でやっているの、どんな感じの事業なんでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） サーバーに関しましては、その協議会に入られてる自治体、全部の自治体が入ってるわけではなくて、それに賛同される自治体が入ってるんですけども、そこで、サーバーについては、割ってます。あと、車載機につきましては、それぞれ、豊岡でしたら但馬3市2町で負担割合を決めて、バス事業者に補助するという形を取っております。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 基本的には、前向きに検討してほしい、特に小銭で今はやっているという状況ですから、なかなか利用がしにくいということと、あわせて、例えばバスそのものに、1台、1台にセンサーをつけて、今どこにいるというようなことが分かるような、そういうような取組も併せてしてもらえると利便性が高まるのかなと思うんですけども、そういった取組というところは、何か検討とかってあるんでしょうか。

○分科会長（森垣 康平） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） そういった検討も進めていってはいるんですが、まだなかなか実現するところには至ってないというのが実情です。

○分科会長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 専門職大とか、そういうところでも交通の取組をされてるともありますから、ぜひ、そういったところと提携しているわけですから、うまく実用化に向けて考えていただきたいなと思います。以上です。

○分科会長（森垣 康平） そのほかありませんでしょうか。

それでは、質疑を打ち切ります。

続いて、上下水道部の説明をお願いします。

水道課、縄手課長、よろしくお願いします。

○水道課長（縄手 伸幸） 私からは、水道事業に係る部分についてご説明いたします。

予算書195ページをご覧ください。歳出です。

表の最下段、水道事業会計負担金として3億7,929万6,000円を予定しています。これは、主に総務省の繰り出し基準に基づきまして、一般会計から水道事業会計へ繰り出すものでございます。国庫補助事業に対する一般会計からの負担金などを計上しています。

続きまして、歳入です。75ページをご覧ください。

市債です。下の表の上から3段目、保健衛生債の水道施設整備事業債を、国庫補助事業などに対する負担金の財源として1億4,220万円を予定しています。

続いて、10ページをご覧ください。第3表、地方債です。

真ん中辺り、少し上です。水道施設整備事業費を同様に1億4,220万円としています。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 続きまして、下水道課、野畑課長、お願いします。

○下水道課長（野畑 修身） 一般会計予算の下水道課に係る部分について説明させていただきます。

まず、歳出から説明いたします。

予算書の193ページをご覧ください。説明欄の1番目の枠、浄化槽設置事業補助金88万8,000円は、豊岡市浄化槽設置整備事業補助金交付規程に基づいて、生活排水処理計画で定める合併浄化槽区域内の住宅への浄化槽設置に対し、補助金を交付するものです。

次に、253ページをご覧ください。説明欄の2番目の枠、下水道事業会計負担金26億1,260

万1,000円は、総務省繰り出し基準等に基づく下水道事業会計への負担金として計上しています。次に、歳入です。

39ページをご覧ください。説明欄2つ目の枠の1行目、循環型社会形成推進交付金29万6,000円は、浄化槽設置事業に係る交付金で、事業費88万8,000円の3分の1を計上しています。

説明は以上です。

○分科会長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 下水道のほうで、浄化槽の設置の補助金、ちょっと詳しく教えてください。

○分科会長（森垣 康平） 野畑課長。

○下水道課長（野畑 修身） 内訳としましては、5人槽が1基、これが41万4,000円です。あと、6人・7人槽が1基で47万4,000円となっております。

○分科会長（森垣 康平） 西田委員。

○委員（西田 真） 以上です。いいです。

○分科会長（森垣 康平） それでは、質疑を打ち切ります。

ここで建設経済分科会を暫時休憩いたします。

午後2時53分 分科会休憩

午後2時53分 委員会再開

○委員長（森垣 康平） ただいまから建設経済委員会を再開いたします。

それでは、第35号議案、令和8年度豊岡市水道事業会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

水道課、縄手課長、お願いします。

○水道課長（縄手 伸幸） 第35号議案、令和8年度豊岡市水道事業会計予算についてご説明いたします。

豊岡市特別会計予算書の239ページをご覧ください。239ページから241ページにつきましては、本会議で部長が説明したとおりでございますので、私からは、予算実施計画でご説明いたします。

245ページをご覧ください。まず、収益的収入及び支出です。収入では、水道事業収益として24億4,267万円を予定しています。主なものとしては、その2つ下、営業収益の水道料金18億7,761万7,000円です。営業外収益のうち一般会計補助金は、先ほど一般会計予算で説明しました水道事業会計負担金の一部でございます。

246ページをご覧ください。支出ですが、水道事業費用として24億1,122万5,000円を予定しています。営業費用は22億592万2,000円で、主なものとしては、中段辺りに原水及び浄水費の委託費としまして1億9,475万円、これは各浄水施設の運転管理業務などでございます。

続いて、247ページ、配水及び給水費の中段辺りです。委託料1億4,307万5,000円、これは各配水施設の保守点検などでございます。

その3つ下、修繕費です。7,427万6,000円、これは漏水修理等に係る費用でございます。

続いて、248ページ、総係費の中段少し下、委託料1億415万6,000円、これは料金等賦課徴収業務などでございます。

次に、250ページをご覧ください。資本的収入及び支出です。

まず、上段の資本的収入は6億2,958万6,000円を予定しています。企業債のほか、一般会計出資金、それから負担金、国庫補助金を計上しています。

下段の資本的支出は18億8,779万3,000円を予定しています。建設改良費は9億2,888万3,000円で、うち工事請負費としまして8億3,553万6,000円としています。別途、管路関係ですとか、施設整備関係の事業予定箇所図を提出させていただいておりますので、後ほどご覧ください。

次に、251ページから255ページにつきましては、キャッシュフロー計算、給与費明細書を添付していますので、ご清覧ください。

256ページをご覧ください。債務負担行為に関

する調書です。下から2行目の老朽管更新事業までは、これまでに設定させていただいているもので、今回新たなものとしましては、表の一番下、竿口橋架替関連事業の1件となります。

258ページからは、予定貸借対照表と予定損益計算書を添付しておりますので、ご清覧ください。説明は以上でございます。

○委員長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものとして決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） ご異議なしと認めます。よって、第35号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第36号議案、令和8年度豊岡市下水道事業会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下水道課、野畑課長、お願いします。

○下水道課長（野畑 修身） 第36号議案、令和8年度豊岡市下水道事業会計予算について説明させていただきます。

上下水道部長が本会議で説明したとおりですが、私からは実施計画で説明をさせていただきます。

273ページをご覧ください。まず、収益的収入及び支出ですが、収入では、下水道事業収益として55億9,154万2,000円を予定しています。主なものとしては、営業収益の下水道使用料16億1,268万7,000円、雨水処理及びし尿処理に係る他会計負担金1億5,598万2,000円、営業外収益の汚水処理に係る総務省繰り出し基準等に基づいた一般会計からの補助金24億6,824万4,000円、長期前受金戻入れ13億1,190万3,000円及び消費税及び地方消費税還付

金3,044万5,000円などです。

274ページをご覧ください。次に、支出は、下水道事業費用として48億701万3,000円を予定しています。営業費用の主なものは、管渠費では、異常通報等に係る通信運搬費1,612万円、施設の維持管理に必要な委託料6,179万9,000円、道路工事に伴うマンホールの高さ調整やマンホールポンプなどの修繕費4,731万9,000円、動力費として588か所あるマンホールポンプ場などの電力料金6,602万3,000円、ポンプ場費では、桃島雨水ポンプ場及び京口中継ポンプ場に係る費用で、施設の運転管理などの委託料1,654万円、275ページに移りまして、処理場費では、処理場の運転管理や汚泥処理運搬業務などの委託料5億6,960万1,000円、各施設の機器修繕に係る費用として修繕費1億40万円、汚泥の処分先である北但行政事務組合への処分に係る汚泥処理負担金1,165万2,000円、動力費1億6,880万6,000円などです。276ページに移りまして、総係費は、下水道台帳整備等の委託料1,175万円、使用料徴収事務などの負担金6,308万7,000円などが主なものです。次に、減価償却費では、有形及び無形固定資産の減価償却費30億7,491万4,000円を計上し、営業外費用では、企業債等の支払い利息3億6,511万円などを計上しています。また、下水道使用料改定に伴う市民説明会の実施などにより、時間外勤務手当の時間数が前年度当初予算と比較して660時間増加し、金額としては164万9,000円の増額を計上しています。

次に、278ページをご覧ください。資本的収入は24億7,265万9,000円を予定しています。主なものとしては、建設改良事業に係る企業債17億3,480万円、国庫補助金7億3,725万円などです。

次に、資本的支出は51億6,948万6,000円を予定しています。建設改良費の主なものは、管渠施設事業費では、管路施設耐震診断などとして、委託料5,742万8,000円、また、施設の統

廃合、長寿命化などの工事請負費4億1,780万円が主なものです。279ページをご覧ください。処理場施設事業費は、処理施設長寿命化耐震診断業務などの委託料1億1,002万8,000円、処理施設長寿命化対策として工事請負費9億1,600万円を計上しています。なお、令和8年度より耐震化対策に取り組むため、時間外勤務手当の時間数が前年度当初予算と比較して204時間増加し、金額にして51万円の増額を計上しています。また、企業債償還金は36億1,170万5,000円を計上しています。

説明は以上です。

○委員長（森垣 康平） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 1点。今、非常に燃料費というか、石油がすごく上がっているということで、下水の場合は動力費がまあまあな金額を立てられてるんですけども、少しそういう意味では想定とかなり乖離してくるのかなという気がするんです。その点について、何か考えておられることとありますか。

○委員長（森垣 康平） 野畑課長。

○下水道課長（野畑 修身） 今のところは、特に考えてはいないんですけど、恐らく国からの補助等がまた出てくると思うので、そちらのほうを活用したいかなと思っています。以上です。

○委員長（森垣 康平） 清水委員。

○委員（清水 寛） 下水のほうに関しては、少し値上げの話というのも検討されていくというような内容の中で、やはり今の状況というのは、少し盛り込んでもらいながら、しっかり考えていただきたいなと思います。以上です。

○委員長（森垣 康平） そのほか、ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） ご異議なしと認めます。よって、第36号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

この際、当局の皆さんから特にご発言がありませんか。

それでは、ここで建設経済委員会を暫時休憩いたします。

午後3時06分 委員会休憩

午後3時09分 分科会再開

○分科会長（森垣 康平） それでは、ただいまから建設経済分科会を再開いたします。

それでは、本日、説明、質疑を行いました第26号議案、令和8年度豊岡市一般会計予算について、賛否の確認をいたします。

暫時休憩します。

午後3時10分休憩

午後3時10分再開

○分科会長（森垣 康平） 会議を再開いたします。

本案について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○分科会長（森垣 康平） 全員賛成と認めます。

以上で、本日予定している議案に対する審査を終了いたします。

これより、協議事項2番、意見・要望のまとめ、ア、分科会意見・要望のまとめに入ります。

本日、分科会で審査いたしました第26号議案、令和8年度豊岡市一般会計予算について、分科会意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容について協議いただきたいと思います。

分科会審査に係る意見、要望について、ご発言があればお願いいたします。

暫時休憩いたします。

午後3時10分休憩

午後3時12分再開

○分科会長（森垣 康平） それでは、会議を再開いたします。

分科会に付す意見として、どなたか発言があれば、お願いいたします。

西田委員。

○委員（西田 真） 先ほど産業用地が豊岡市としてないということで、新たに産業用地を探している案件があります。現在、神美の中核工業団地のほうで空いてる区画がありますので、それを利用すべきだと思います。それを意見を付していただければいいかなと思っております。以上です。

○分科会長（森垣 康平） ありがとうございます。

そのほか、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（森垣 康平） それでは、西田委員のご意見を参考にして、正副分科会長で意見をまとめていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（森垣 康平） 異議ないようですので、分科会長報告につきましては、正副分科会長にご一任をお願いします。

以上をもちまして建設経済分科会を閉会いたします。

午後3時13分 分科会閉会

午後3時13分 委員会再開

○委員長（森垣 康平） ただいまから建設経済委員会を再開いたします。

これより、イ、委員会の意見・要望のまとめに入ります。

本日委員会で審査いたしました第33号議案、令和8年度豊岡市太陽光発電事業特別会計予算、第35号議案、令和8年度豊岡市水道事業会計予算、第36号議案、令和8年度豊岡市下水道事業会計予算について、委員会意見・要望として、委員長報告に付すべき内容について協議いただきたいと思います。

す。

委員会審査に関わる意見、要望についてご発言があれば、お願いいたします。何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） それでは、皆さん、なしということですので、委員長報告につきましては、正副委員長にご一任をお願いしたいと思います、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） ご異議がないようですので、正副委員長にご一任をお願いいたします。

次に、協議事項の３番、閉会中の継続審査申出についてを協議いたします。

別紙１のとおり、委員会重点調査事項を、議長に対して、閉会中の継続審査事項として申し出たいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

一応、すみません、確認させてもらいます。今出させてもらったのが、重点調査事項になります。

それでは、ご異議なしということで、こちらで進めたいと思います。

続いて、協議事項の４番ですが、こちらは、もういいんですね、飛ばしたら。こちら、昨日、協議していただきましたので、飛ばします。

最後に、そのほかについて、委員の皆様から何かご発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森垣 康平） それでは、ないようでしたら、以上をもちまして建設経済委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後３時１５分閉会
